

さいたま

2010年度 活動計画
2009年度 活動報告



2010年3月5日

QCサークル関東支部埼玉地区

2010年度 地区長会社 (株) コーセイ 狭山事業所

2010年度 副地区長会社 UDトラックス (株)

2010年度 地区長会社 富士電機機器制御(株)吹上事業所

QCサークルの基本

QCサークル活動とは

QCサークルとは、
第一線の職場で働く人々が
継続的に製品・サービス・仕事などの質の管理・改善を行う
小グループである。

この小グループは、
運営を自主的に行い
QCの考え方・手法などを活用し
創造性を発揮し
自己啓発・相互啓発をはかり
活動を進める。

この活動は、
QCサークルメンバーの能力向上・自己実現
明るく活気に満ちた生きがいのある職場づくり
お客様満足の向上および社会への貢献
をめざす。

経営者・管理者は、
この活動を企業の体質改善・発展に寄与させるために
人材育成・職場活性化の重要な活動として位置づけ
自らTQMなどの全社的活動を実践するとともに
人間性を尊重し全員参加を目指した指導・支援を
行う。

QCサークル活動の基本理念

- ・人間の能力を発揮し、無限の可能性を引き出す。
- ・人間性を尊重して、生きがいのある明るい職場をつくる。
- ・企業の体質改善・発展に寄与する。

※1970年に制定された「QCサークル綱領」を1996年に改訂し「QCサークルの基本」とした。

2010年度 活動計画

目 次

1. 2010年度QCサークル埼玉地区 地区長ご挨拶	1
2. 2010年度QCサークル埼玉地区 世話人ご挨拶	2
3. 2010年度 支部活動方針	3
4. 2010年度QCサークル埼玉地区活動方針	4
5. 2010年度QCサークル埼玉地区 組織図	5
6. 2010年度QCサークル埼玉地区一般対象・役員対象行事 (運営グループ)	6
7. 2010年度QCサークル埼玉地区一般対象行事計画 (大会ミニ企画グループ)	7
8. 2010年度QCサークル埼玉地区一般対象・役員対象行事計	8
9. 2010年度QCサークル埼玉地区 予算書	9
10. 2010年度QCサークル埼玉地区 行事計画	10
11. 2010年度QCサークル埼玉地区 会員名簿	11

1. QCサークル埼玉地区 地区長ご挨拶



QCサークル関東支部埼玉地区
2010年度 地区長
(株) コーセイ 狭山事業所
工場長 小玉 辰朗

今こそ変化に対応した職場力の向上を

QCサークル関東支部埼玉地区の会員及び幹事会員並びに地区役員の皆様には、平素より当地区の諸活動に対し、ご指導ご協力を賜り誠にありがとうございます。

さて、世界的な金融危機での需要の縮み上がりも一段落はしたというものの、数年来の円高ドル安なども有り、多くの企業の決算は減収減益が予想されています。

又、物価が持続的に下落する「緩やかなデフレ」の認定が3年ぶりに政府よりあり、今後更に企業収益の悪化や失業増大に繋がるリスクが更に大きくなることが想定されます。

そんなときこそQCサークル活動を活性化し、職場力を発揮するときではないでしょうか。同じ職場に働く仲間の自主的運営による改善活動を行うQCサークル活動は「個の成長と明るい職場を目指した活動」であり、「変化に対応した職場力の向上」を基本目的としているからです。

2010年度埼玉地区は35周年を迎えることとなります。「継続は力なり」という言葉がありますが、まさに諸先輩が築き上げていただいた結果がここに結実したもので本当に感謝の念にたえません。

それを引継ぎ発展させるべく今年度は「現場力(職場力)の強化、人づくり、品質水準の改善・向上に貢献」の年度方針のもと、QCサークル導入企業・組織への「出前研修」や「経営者コミュニティの開催」など、ニーズにあった企画を精力的に実施していきたいと思えます。

2010年度地区長の大役をお引き受けするに当たり、当埼玉地区のQCサークル活動が各企業の発展に少しでも貢献できますよう精一杯努めさせていただきますので、皆様の変わらぬご支援ご協力を宜しくお願い申し上げます。

2. 2010年度 QCサークル埼玉地区 世話人ご挨拶



QCサークル関東支部埼玉地区
2010年度 世話人
(元)UDトラックス(株)
廣瀬 正敏

夢だせ・知恵だせ・元気だせ

昨年に引き続き、2010年度QCサークル埼玉地区の世話人をさせていただきます廣瀬でございます。はじめて世話人として地区活動に係りました2009年度は、大変貴重な経験をさせていただきました。

一昨年後半から続く経済危機の中、大変厳しい地区活動でありましたが会員会社さまの「こんな難局に負けていられるか」という強い意志が感じられましたし、「強い現場をつくるんだ」という各社の思いに感動いたしました。

経済環境も少しずつですが良くなりつつあります。どん底を味わった昨年の経験は無駄ではありません。経験は何にも勝る力です。苦しかった経験を活かして2010年度はQCサークル(小集団活動)を見直し、発展させるスタートの年になればと期待しております。

2010年度は埼玉地区QCサークル35周年という記念すべき年であります。諸先輩が築き上げ、多くの人によって引き継がれてきたこの財産をさらに発展させる節目の年でもあります。

QCサークル活動(小集団活動)は現場力を強くし、そして人を育てる最高の場であると言う事は周知の事実です。この事を会員会社だけでなく多くの会社様に再認識していただき、将来に夢を持ち、現在に知恵を出し、そして明るく元気な活動にしたいと思っております。

「夢だせ、知恵だせ、元気だせ」をスローガンに2010年度の活動を推進していきましょう。会員の皆様のご支援・ご協力をよろしくお願い申し上げます。

3. 2010年度 支部活動方針

QCサークル活動の基本理念	
<p>人間の能力を發揮し、無限の可能性を引き出す 人間性を尊重して、生きがいのある明るい職場を作る 企業の体質改善・発展に寄与する</p>	
2010年度 QCサークル本部方針	
<p>* QCサークル活動(小集団改善活動)を広め、あらゆる職場を活性化しよう！</p>	
企業・組織の目指すべき活動	
<ol style="list-style-type: none"> 1. チームワークで改善に取り組み、自己成長をはかる活動。 2. より高い目標に挑戦して、仕事の達成感を味わう活動。 3. 管理・監督者は活動を支援し、それを通してマネジメント能力の向上をはかる活動 4. 経営者が人財育成と職場活性化を支援する活動。 5. 開発・営業・サービス・管理間接を含むTQMや品質保証・安全管理などの全社的な活動と一体になった活動。 	
本部・支部・地区としての活動	
<ol style="list-style-type: none"> 1. 経営者・管理者・監督者への継続的な働きかけ。 2. 支部・地区活動を通じた、幹事の能力の着実な向上。 3. 幹事会社・賛助会社にお役に立つ発表会・研修会の開催。 4. 日本の産業を支える中堅企業を巻き込んだ運営。 5. 支部長会社・地区長会社・幹事会社の負荷を軽減するための運営の効率化と推進方法の共有。 6. 行政との連携など、地域に密着した柔軟な運営。 	
具体的な展開：	
前記方針の達成に向けた、本部・支部・地区として取るべき行動(具体的取り組み例)	
<ol style="list-style-type: none"> 1. 地域の行政や経営者協会等と連携をとりながら、選抜大会や経営者フォーラムを開催し、この活動が経営成果につながることへの理解活動を展開する。 2. 大会において、従来の改善事例の発表に加え、管理者・監督者による推進事例の発表を行い、管理者・監督者を巻き込んだ取り組みを行う。 3. 推進の悩みを相談できる場を設けるとともに、各企業・組織が実施している良い推進のやり方を事例集にまとめ、相互に学び合う。 4. 個々の企業・組織のニーズに応じた出前研修を実施し、活動を実践する企業・組織の増加、研修会や発表会への参加者増につなげる。 5. 個別改善事例発表大会の開催、運営事例選抜大会の基準の見直しなど、時代に即応した、従来のスタイルにこだわらない大会を企画する。 6. 個別指導、エリア(ブロック)幹事会社制度などの具体的な仕掛けを活用し、日本の産業を支えるものづくり中堅企業、福祉・医療・教育などの社会基盤を成す分野への普及・拡大をはかり、仲間を増やす。 7. 従来の幹事制度にこだわることなく、みんなで負荷を分散し、支部長会社・地区長会社、幹事会社への負担軽減の工夫をはかる。 8. 開発・営業・サービス・管理などの間接部門への普及・拡大のための具体的なツール、リーダー・メンバーのやる気を支援する具体的なツールを開発・活用する。 9. 支部・地区の運営の統廃合など、検討する 	
関東支部中期ビジョン(2009～2011年)	
『現場力・職場力の向上、人財育成、品質の改善・向上に資するQCサークル活動を継続的に進化させていく』ことを基本として、支部・地区が一体となって改革を推進する	
<p><支部運営の目指す姿></p> <p>原点となる地区活動との共働、支援、コミュニケーションの徹底</p>	
2010年度 QCサークル関東支部活動方針	
<p>経営者、管理者、監督者を巻き込んだQCサークル活動(小集団改善活動)を広める。</p> <p>開発・営業・サービス・管理間接部門も含め活動の活性化をめざし、下記重点実施項目を推進する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 現場力・職場力の強化、職場の人づくりの実践、品質の改善・向上 <ol style="list-style-type: none"> 1.1 経営者コミュニティ、経営者フォーラムを通じ、経営者・管理者の率先垂範マインドを醸成する。 1.2 医療・福祉、JHS部門、中堅企業など幅広い小集団改善活動の推進 1.3 「運営事例アドバイスブック」の共有化と支援体制の確立 1.4 管理・監督者による指導・支援事例の発表を推進する。 2. 幹事会社及び幹事のメリットの追究と幹事の力量向上 <ol style="list-style-type: none"> 2.1 地区研修の利点や水平展開すべき情報をHPを利用して展開する。 2.2 支部内外の交流を通じ、ベストプラクティスの共有を推進する。 3. 支部・地区活動の運営の効率化のための継続的な推進 <ol style="list-style-type: none"> 3.1 支部長会社、地区長会社の負荷を軽減するための運営の効率化 3.2 地区間の重複業務の見直し・改善と連携の推進 4. 支部の各種情報を保存するしくみの構築 	
2010年度の主たる会議(概要)	
会議	4回開催(5/14, 7/12, 9/17, 11/19)
	2回開催(5/14, 9/17)
	原則として幹事会の1週間前に開催(3/12, 4/27, 7/5, 9/2, 11/12)／支部活動の方向性検討、施策立案
	企画委員会と合併開催／支部中期的課題、懸案事項などの検討
	大会開催前日に目線合わせを目的に実施

4. 2010年度QCサークル埼玉地区活動方針

基本方針

会員同士の強固な連携により、地区内企業・団体のために「QCサークルの基本」を尊重し、QCサークル活動(小集団改善活動)の活性化とレベルアップを図ることによって、産業界の発展に寄与する。

年度方針

1. 小集団改善活動を活性化し、現場力(職場)の強化、人づくり、品質水準の改善・向上に貢献する。
2. 1) 地区組織を継続・維持と効率よい運営を行うため、スクラップ&ビルドを進める。
2) 予算については昨年度に引き続き行事参加動員数の減少が予測されることから個別行事の赤字予算化やむなしとする。
3. 地区ニーズに合った魅力ある企画を創造し実行する。

重点施策

重点施策	前年実績	活性化		産業界の	レベルアップ			
		会員会社	行事有料 総参加数	発展に寄与		大会参加 満足度	研修会参加 満足度	外部研修 参加者数
				行事参加 会社数	幹事会員 会社数			
	目標	100社↑	660名↑	65社↑	12社↑	80%↑	80%↑	20名↑
1. QCサークル活動(小集団改善活動)を活性化し、現場力(職場)の強化、人づくり、品質水準の改善・向上に貢献する。								
4. 2010年度 QCサークル埼玉地区活動方針			○	○		○		
大会ミニ 企画G			○	○		○		
②夏季発表会(福祉領域の改善含む)			○	○		○		
③35周年改善事例選抜大会			○	○		○		
④ワイガヤ企業見学交流会【Ⅰ】			○	○		○		
⑤ワイガヤ企業見学交流会【Ⅱ】			○	○		○		
研修G			○	○		○		
①QCサークル活動(小集団改善活動)の基礎研修会			○	○		○		
②QC手法体得研修会			○	○		○		
③QCサークル活動(小集団改善活動)リーダー研修会			○	○		○		
運営G			○		○			
①経営者コミュニティの開催を推進する。		○			○			
②埼玉地区運営の統括及びコミュニケーションの充実をはかる。		○			○			
2. 1) 地区組織を継続・維持と効率よい運営を行うため、スクラップ&ビルドを進める。 2) 予算については昨年度に引き続き行事参加動員数の減少が予測されることから個別行事の赤字予算化やむなしとする。								
①幹事会社のメリットを充実させ、幹事会社を増やす。					○			○
②役員のスキルアップ研修を充実させる。(日科技連や他地区等の研修会への参加)								○
③年初に代表者・窓口担当者会議を実施する。		○	○	○	○			
3. 地区ニーズに合った魅力ある企画を創造し実行する。								
①他地区活動のベンチマーキングを継続する。								○
②本部・支部との連携を強化する中で、他地区との情報交流も図る。		○						○
③「35周年記念事業」を実施する。			○	○				

運営の特徴

1. コミュニケーションを図りいきいきとした組織づくりを推進する。
2. 経営者=16. 2010年度埼玉地区役員対象行事一覧表
醸成し、地区活動の活性化をはかる。

5. 2010年度 QCサークル埼玉地区 組織図

2010. 3. 5

QCサークル本部 【(財)日本科学技術連盟内】

北海道 支部	東北 支部	関東 支部	東海 支部	北陸 支部	近畿 支部	中国・四国 支部	九州 支部	沖縄 支部
-----------	----------	----------	----------	----------	----------	-------------	----------	----------

特別顧問世話人: 古郡 陽一 (KYB株)	支部 幹事長: 高橋 誠二 (株ジーシー)
支部世話人: 羽田 源太郎 (日科技連)	支部 副幹事長: 下田 敏文 (日産)
支部長: 毛利 哲明 (株ジーシー)	支部 事務局: 二瓶 勤 (株ジーシー)
副支部長: 酒井 寿治 (日産)	支部 副事務局: 飯島 幸子 (株ジーシー)
	支部 副事務局: 佐々木弘美 (日産)

京浜 地区	長野 地区	群馬 地区	埼玉地区	栃木 地区	山梨 地区	千葉 地区	神奈川 地区	茨城 地区
----------	----------	----------	------	----------	----------	----------	-----------	----------

<p>名誉世話人</p> <p>名誉世話人: 安藤 之裕 (財)日本科学技術連盟</p> <p>名誉世話人: 本多 康夫 埼玉県経営者協会</p>	<p>正副地区長</p> <p>地区長: 小玉 辰朗 (株コーセー 狭山事業所)</p> <p>副地区長: 勝又 友市 (UDトラックス株)</p>
<p>正副世話人・顧問・相談役・指導員</p> <p>顧問: 田口 勝彦 (富士電機機器制御)</p> <p>世話人: 廣瀬 正敏 (元・UDトラックス株)</p> <p>副世話人: 高橋 公明 (富士電機機器制御株)</p> <p>相談役: 北島 憲造 (大崎電気工業株)</p> <p>指導員: 大熊 三男 (元・富士重工業株)</p> <p>指導員: 腰塚 清 (元・UDトラックス株)</p> <p>指導員: 小林 則雄 (元・本田技研工業株)</p> <p>指導員: 菅原 准一 (元・べんてる株)</p> <p>指導員: 根岸 達雄 (元・富士電機機器制御株)</p> <p>指導員: 藤沢 誠一 (元・大崎電気工業株)</p> <p>指導員: 三ツ橋章雄 (元・UDトラックス株)</p> <p>指導員: 村 精治 (㈹エム・アイ・キュー)</p>	<p>正副幹事長</p> <p>幹事長: 古賀 逸明 (株コーセー 狭山事業所)</p> <p>副幹事長: 大箱 豊治 (UDトラックス株)</p>
	<p>会計監査人</p> <p>高橋 公明 (富士電機機器制御株吹上事業所)</p> <p>今石 義信 (株安川電機人間事業所)</p>
	<p>正副事務局</p> <p>事務局: 増村 幾子 (株コーセー 狭山事業所)</p> <p>副事務局: 和田 茂人 (UDトラックス株)</p>

幹事会員 & 幹事・指導員 グループ体制		
大会・ミニ企画グループ	研修グループ	運営グループ
<ul style="list-style-type: none"> ◎(株)安川電機人間事業所 幹事: 今石 義信 ○ジェコー株 幹事: 飯田 尚彦 ・(株)コーセー狭山事業所 幹事: 増村 幾子 ・ボッシュ (株) 幹事: 橋本 信能 ・UDトラックス (株) 幹事: 和田 茂人 ・大崎電気工業株埼玉事業所 幹事: 奥田 一夫 <p style="text-align: right;">幹事: 6名</p> <p style="text-align: right;">指導員 4名 根岸 達雄 腰塚 清 小林 則雄 菅原 准一</p>	<ul style="list-style-type: none"> ◎富士電機機器制御株吹上事業所 幹事: 木村 茂、高橋 日都子 ○フジノン株 幹事: 新井 道夫 ・(株)アルビオン熊谷工場 幹事: 甲 栄一、青木 伸貴 西沢 宜之 ・本田技研工業株埼玉製作所 幹事: 伊藤 真一 ・(株)本庄防災設備 幹事: 武井亀代子 <p style="text-align: right;">幹事: 8名</p> <p style="text-align: right;">指導員 4名 大熊 三男 村 精治 藤沢 誠一 三ツ橋章雄</p>	<ul style="list-style-type: none"> ◎(株)コーセー狭山事業所 幹事: 古賀 逸明 増村 幾子 ○UDトラックス株 幹事: 大箱 豊治 和田 茂人 <p style="text-align: right;">4名</p> <p style="text-align: right;">◎グループ長 ○副グループ長</p>
<p>幹事会員: 11社</p> <p>役員: 33名 (幹事14名) (指導員 8名)</p>		

* 審査委員長: 腰塚指導員
* 副審査委員長: 根岸指導員

6. 2010年度 QCサークル埼玉地区 一般対象・役員対象行事（運営グループ）

行事名		代表者・窓口担当者会議	新任幹事研修会	経営者コミュニティー
期 日		2010/4/20(火)	2010/4/26(月)	2010/6/25(金)
場 所		(株)コーセー 狭山事業所	(株)コーセー 狭山事業所	ソニックシティビル(予定)
対 象 者		会員会社 窓口担当者・代表者	新任幹事	幹事会社
参加費	会 員			
	非会員			
狙いと内容		<p>☆会員会社の代表者、窓口担当者 とコミュニケーションを図り、地区 活動の活性化につなげる。</p> <p><内 容></p> <p>1. 地区活動方針、行事計画 2. 地区運営の意見交換</p>	<p>☆幹事としての基本的知 識、心構え等を身に付け る。</p> <p><内 容></p> <p>1. 幹事の役割と心構え 2. 地区規定・規則の理解</p> <p>※役員研修会は外部研修に置き換え</p>	<p>☆・幹事会社の上層部の方にQC サークル活動の理解 ・QCサークル活動などの小集団活動の 活性化、支部組織運営の改革など関連する テーマについて、幹事会社を中心に経営者の 交流を深め、経営サイドから支援活動を強化 する。</p> <p><内 容></p> <p>1. 幹事会社の情報交換及び交流 2. 本部・支部からの課題提起 3. 地区幹事会社の話題提供 4. 2・3についてのディスカッション</p>
行事委員長		(株)コーセー 狭山事業所	(株)コーセー 狭山事業所	(株)コーセー 狭山事業所
副行事委員長		UDトラックス(株)	UDトラックス(株)	UDトラックス(株)
運営グループ 構成会員		<p>グループ長： (株)コーセー 副グループ長： UDトラックス(株)</p>		

7. 2010年度 QCサークル埼玉地区 一般対象行事計画 (大会ミニ企画グループ)

2010/3/2版

行事名	大会・発表会			ミニ企画	
	第5186回 QCサークル(小集団改善活動) 春季発表大会	第5209回 QCサークル(小集団改善活動) 夏季発表会	第5249回 35周年記念 改善事例選抜大会	第5194回 ワイガヤ企業見学交流会①	第5237回 ワイガヤ企業見学交流会②
期 日	5月27日(木)	7月21日(水)	11月25日(木)	6月16日(水)	10月20日(水)
場 所	さいたま市民会館おおみや	さいたま市民会館おおみや	さいたま市民会館おおみや	(株)コーセー 狭山事業所	UDトラックス(株)
発表件数	登録数による	登録数による	登録数による	2サークル	2サークル
募集人員	150名	150名	180名	40名	50名
参加費	会 員	3,500円/1日	3,500円/1日	3,500円/1日	3,500円/1日
	非会員	4,000円/1日	4,000円/1日	4,000円/1日	4,000円/1日
狙いと内容	<p>☆あらゆる小集団の改善事例の発表を通じ、学び合うことから更なるレベルアップを図る。 ＜特別講演＞ ☆ 候補者人選中</p> <p>★優秀サークルには埼玉県経営者協会会長賞が授与される。</p>	<p>☆福祉領域の改善活動を含め幅広い改善のノウハウを学ぶ。</p>	<p>☆優秀サークルによる改善事例の発表を通じて、QCサークル活動の質の向上と参加者の相互啓発を図る。 ☆支部改善事例チャンピオン大会への代表サークル選考の場。 ＜特別講演＞ ☆QCサークル本部幹事長 大鶴 英嗣氏 ★優秀サークルには埼玉県知事賞が授与される。</p>	<p>☆工場見学・体験談発表・意見交換を通じて交流の輪を広げる。 ☆他社のQCサークル(小集団)活動を学び自己啓発を図る。 ☆事例発表をモデルにグループディスカッションを行い、相互研鑽を図る。</p>	
行事委員長	UDトラックス(株)	ジェコー(株)	大崎電気工業(株)	ボッシュ(株)	(株)安川電機
副行事委員長	ジェコー(株)	大崎電気工業(株)	ボッシュ(株)	(株)安川電機	UDトラックス(株)
大会・ミニ企画 構成会員	<p>大会・ミニ企画グループ長: (株)安川電機 入間事業所 大会・ミニ企画副グループ長: ジェコー(株) 大会・ミニ企画グループ会員: (株)コーセー 狭山事業所 UDトラックス(株) ボッシュ(株) 大崎電気工業(株) 埼玉事業所</p>			<p>担当指導員 腰塚 清 根岸達雄 小林則雄 菅原准一</p>	

8. 2010年度 QCサークル埼玉地区 一般対象行事計画（研修グループ）

2010年2月9日版

行 事 名		QCサークル(小集団)活動基礎研修会	QC手法体得研修会	QCサークル(小集団)活動リーダー研修会
期 日		5月19日(水)、20日(木)＜2日間通いコース＞	9月15日(水)、16(木)＜2日間通いコース＞	12月7日(火)、8(水)＜2日間通いコース＞
場 所		さいたま市産業振興会館	さいたま市産業振興会館(予定)	さいたま市産業振興会館(予定)
対象者		新入社員・サークルリーダー・メンバー	QCサークル(小集団)活動メンバー・リーダー 及び支援推進者	QCサークル(小集団)活動リーダー・サブリーダー
募集人員		30名	30名	30名
参加費	会 員	13,000円/2日	13,000円/2日	13,000円/2日
	非会員	15,000円/2日	15,000円/2日	15,000円/2日
狙いと内容		<p>☆日常業務や小集団活動を合理的かつ効率的に進める上でQCサークル(小集団)活動の基本を理解し、改善活動に必要な品質管理の考え方と問題解決の進め方を身に付ける。</p> <p>【内容】</p> <p>1.なぜQCサークル(小集団)活動に取り組むのか 2.品質管理・QCサークル(小集団)活動の基本 3.問題解決(QCストーリー)の基本的な手順</p>	<p>☆日常業務やサークル(小集団)活動を合理的かつ効率的に進める上で必要な考え方とQC手法を体得する。</p> <p>【内容】</p> <p>1.1日目(共通:やさしいQC手法) 2日目(選択:QC手法ニーズ別 初級・中級研修 2.QC手法の有効的な活用 (作図の仕方・見方・読み方) 3.改善活動のステップに合ったQC手法を体得</p>	<p>☆リーダーとしての資質を高めるためにQCサークル(小集団)活動の基本とリーダーシップのとり方を理解すると共に実際に事実のデータを収集し問題解決能力の向上を図る。</p> <p>【内容】</p> <p>1.リーダーの役割・考え方とグループディスカッション 2.ダーツゲームを通して実践的問題解決能力を向上させる</p>
行事委員長		フジノン(株)	(株)アルビオン 熊谷工場	本田技研工業(株)埼玉製作所
副行事委員長		(株)アルビオン 熊谷工場	本田技研工業(株)埼玉製作所	(株)本庄防災設備
研修グループ 構成会員		グループ長:富士電機機器制御(株)吹上事業所 副グループ長:フジノン(株)	グループ員:(株)アルビオン 熊谷工場 (株)本庄防災設備 本田技研工業(株)埼玉製作所	担当指導員 大熊三男 藤沢誠一 村 精治 三ツ橋章雄

9. 予算編成資料

(地区会計様式-1)

2010年度 QCサークル埼玉地区 予算書

(1) 一般会計

科 目		前年度決算額	本年度予算額	増減額	
収 入	1. 前年度繰越金	8,178,666	6,688,269	-1,490,397	
	2. 会費	1,179,000	1,140,000	-39,000	
	3. 行事収入	①大会等参加費	1,695,726	2,012,500	316,774
		②研修会参加費	1,442,179	1,170,000	-272,179
		小計	3,137,905	3,182,500	44,595
	4. 本部からの収入	0	0	0	
5. 利息	1,994	2,000	6		
6. 雑収入	0	0	0		
収入合計		12,497,565	11,012,769	-1,484,796	
(単年度収入合計)		4,318,899	4,324,500	5,601	
支 出	1. 行事費	①大会等運営費	1,984,550	2,038,620	54,070
		②研修会運営費	785,779	726,000	-59,779
		小計	2,770,329	2,764,620	-5,709
	2. 会員支援費	①組織拡大費	64,088	20,000	-44,088
		②QCサークル誌購読料	494,750	500,000	5,250
		③「さいたま」印刷製本費	45,836	55,000	9,164
		④広報広聴費	77,980	100,000	22,020
	小計		682,654	675,000	-7,654
	3. 会議運営費	①幹事会	388,885	400,000	11,115
		②グループ長会議	26,120	52,000	25,880
		③運営グループ会議	113,541	50,000	-63,541
		④大会・ミニ企画グループ会議	280,426	295,000	14,574
		⑤研修グループ会議	292,471	330,000	37,529
		⑥代表者・窓口担当者会議	0	107,500	107,500
	小計		1,101,443	1,234,500	133,057
	4. 事務局費	小計	740,918	750,000	9,082
5. 役員教育研修費	小計	306,303	500,000	193,697	
6. 什器・備品・教材費	①運営グループ関連	0	0	0	
	②大会・ミニ企画グループ関連	66,000	50,000	-16,000	
	③研修グループ関連	141,649	180,000	38,351	
小計		207,649	230,000	22,351	
7. 記念事業積立金	小計	0	0	0	
8. 予備費	小計	0	0	0	
支出合計		5,809,296	6,154,120	344,824	
(単年度支出合計)		-1,490,397	-1,829,620	-339,223	
(単年度収支)					
次年度繰越金	①次年度運営費		200,000		
	②剰余金		4,058,649		
		6,688,269	4,258,649	-2,429,620	

(2) 記念事業会計

科 目		前年度決算額	本年度予算額	増減額	
収 入	1. 前年度繰越金	1,400,349	1,216,365	-183,984	
	2. 記念事業積立金	0	0	0	
	3. 記念事業参加費	0	130,000	130,000	
	4. 利息	240	500	260	
収入合計		1,400,589	1,346,865	-53,724	
(単年度収入合計)		0	130,500		
支 出	1. 記念事業費	①記念事業運営費	0	426,000	426,000
		②記念誌印刷製本費	0	50,000	50,000
		小計	0	476,000	476,000
	2. 会議運営費	①記念事業実行委員会	182,589	300,000	117,411
		小計	182,589	300,000	117,411
	3. 事務局費	小計	1,835	2,000	365
4. 予備費	小計	0	100,000	100,000	
支出合計		184,224	878,000	693,776	
(単年度支出合計)		-184,224	-747,500	-563,276	
(単年度収支)					
次年度繰越金		1,216,365	468,865	-747,500	

11. 2010年度 QCサークル埼玉地区 会員名簿

五十音順

2010. 3. 5

No.	会員名	所在地	No.	会員名	所在地
1	(株)アルケー・エキセル埼玉工場	熊谷市	51	電気興業(株)川越事業所	ふじみ野市
2	(株)アーレスティ熊谷工場	熊谷市	52	東京電力(株)埼玉支店	さいたま市
3	(株)アイチコーポレーション	上尾市	53	(株)トーツー創研埼玉工場	東松山市
4	赤司製線(株)	新座市	54	トッパン・フォームズ・サービス(株)	所沢市
5	旭鋼管工業(株)	草加市	55	(株)七星科学研究所狭山工場	狭山市
6	旭産業(株)	本庄市	56	ニチバン(株)埼玉工場	日高市
7	(株)アドバンス	狭山市	57	日機装(株)東村山製作所	東村山
8	アルバック成膜(株)	秩父市	58	日本クリンゲージ(株)草加工場	草加市
9	(株)アルピオン熊谷工場	熊谷市	59	日本結晶光学株式会社	館林市
10	(株)池田硝子工業所	千代田区	60	日本電業工作(株)	川越市
11	インターコスメ(株)埼玉事業所	狭山市	61	日本ノズル精機(株)	鷲宮町
12	インターコスメ(株)群馬事業所	群馬県	62	日本フェルト(株)埼玉工場	鴻巣市
13	SMC(株)草加工場	草加市	63	日本山村硝子(株)埼玉工場	熊谷市
14	大崎電気工業(株)埼玉事業所	三芳町	64	障害者支援施設はくちょう園	羽生市
15	大崎プラテック(株)	三芳町	65	東日本旅客鉄道(株)大宮支社	さいたま市
16	河西工業(株)寄居事業部	寄居町	66	東日本旅客鉄道(株)高崎支社	高崎市
17	カルソニックンセイ(株)児玉工場	本庄市	67	フィグラ(株)埼玉工場	本庄市
18	カルソニックンセイ(株)吉見工場	吉見町	68	MGCフィルシート(株)所沢工場	所沢市
19	KYB(株)熊谷工場	深谷市	69	富士重工業(株)産業機器カンパニー	北本市
20	関東化学(株)草加工場	草加市	70	藤田金属(株)関東支店	伊奈町
21	関東物流(株)草加事業所	草加市	71	富士電機エフテック(株)	鴻巣市
22	(株)協栄製作所埼玉工場	加須市	72	富士電機機器制御(株)吹上事業所	鴻巣市
23	(株)京樽	江戸川区	73	富士電機リテイルシステムズ(株)	鴻巣市
24	航空自衛隊第二輸送航空隊	狭山市	74	フジノン(株)	さいたま市
25	航空自衛隊航空救難団司令部	狭山市	75	フジミエ研(株)滑川工場	滑川町
26	(株)コーセー狭山事業所	狭山市	76	古川スカイ(株)深谷工場	深谷市
27	(株)コーセー狭山事業所上尾分室	上尾市	77	ぺんてる(株)吉川工場	吉川市
28	コニカミノルタテクノプロダクト(株)	狭山市	78	ぺんてる(株)草加工場	草加市
29	埼玉工業(株)	日高市	79	ポッシュ(株)東松山工場	東松山市
30	サイボー(株)	川口市	80	ポラス(株)	越谷市
31	(株)ジー・エフ・フードサービス	鴻巣市	81	(株)本庄防災設備	本庄市
32	シイテムケイメカニクス(株)	秩父市	82	本田技研工業(株)埼玉製作所	狭山市
33	ジェコー(株)	行田市	83	三井金属鉱業(株)銅箔事業本部	上尾市
34	シグマ光機(株)本社工場	日高市	84	三菱電線工業(株)	熊谷市
35	品川電線(株)本社工場	練馬区	85	三芳合金工業(株)	三芳町
36	社会福祉法人ともいき会	川越市	86	(株)麺工房	八潮市
37	城南コーテック(株)児玉工場	本庄市	87	(株)安川電機入間事業所	入間市
38	信越ポリマー(株)東京工場	さいたま市	88	安川ロジステック東京事業部	入間市
39	新電元工業(株)	飯能市	89	八千代工業(株)	狭山市
40	新日本無線(株)川越製作所	ふじみ野市	90	山川工業(株)	熊谷市
41	(株)ソーシン	入間市	91	UDTトラックス(株)	上尾市
42	大正製薬(株)	さいたま市	92	理研ビタミン(株)	草加市
43	DIC(株)	伊奈町	93	リズム時計工業(株)	さいたま市
44	(株)効ダ・トランスポートサービス	さいたま市	94	YKKスナップファスナー(株)	伊奈町
45	TACO(株)埼玉工場	行田市	95	和光純薬工業(株)	川越市
46	(株)タジマ埼玉工場	鶴ヶ島市			
47	(株)秩父富士	小鹿野町		新和製作所	交渉中
48	通信興業(株)川越工場	川越市		タツムテクノロジー	交渉中
49	(株)椿本チェーン	飯能市			
50	デリカエース(株)	上尾市			

2009年度 活動報告

目 次

1. 2009年度 QCサークル埼玉地区 地区長退任ご挨拶	1
2. 2009年度 QCサークル本部・支部活動方針	2
3. 2009年度 QCサークル埼玉地区活動方針	3
4-①. 2009年度 QCサークル埼玉地区 活動状況	4
4-②. 2009年度 QCサークル埼玉地区 活動状況	5
5. 2009年度 QCサークル埼玉地区 各種指標の推移	6
6. 2009年度 QCサークル埼玉地区 各行事満足度アンケート結果	7
7. 2009年度 QCサークル埼玉地区 行事参加状況	8
8. 2009年度 運営グループ所管会議報告	9
9. 2009年度 35周年記念事業準備委員会所管会議報告	10
10. 2009年度 外部活動出席報告	11
11. 2009年度 本部・支部外部行事参加状況	12
12-①. 2009年度 代表者・窓口担当者会議(県北)報告	13
12-②. 2009年度 代表者・窓口担当者会議(県南)報告	14
13. 2009年度 新任幹事研修会報告	15
14. 2009年度 第1回役員研修会報告	16
15. 2009年度 第2回役員研修会報告	17
16. 2009年度 大会ミニ企画グループ会議等報告書	18
17. 2009年度 第5091回小集団活動春季発表大会	19
18. 2009年度 第5104回企業見学交流会①	20
19. 2009年度 第5111回小集団活動夏季発表会	21
20. 2009年度 第5120回企業見学交流会②	22
21. 2009年度 第5130回小集団活動ワイガヤ発表会	23
22. 2009年度 第5154回改善事例選抜大会	24
23. 2009年度 研修グループ会議等報告書	25
24. 2009年度 QCサークル活動の基礎研修会	26
25. 2009年度 小集団活動リーダー研修会	27
26. 2009年度 QC手法実践活用研修	28
27. 2009年度 QCサークル埼玉地区 決算書	29
28. 2009年度 QCサークル埼玉地区 組織図	30
29. 歴代埼玉地区 地区長会社	31

1. 2009年度 QCサークル埼玉地区 地区長退任ご挨拶



QCサークル関東支部埼玉地区
2009年度 地区長
富士電機機器制御(株)吹上事業所
生産副本部長 田口 勝彦

2009年度地区長退任に当たって

QCサークル関東支部埼玉地区の会員及び幹事会員並びに地区役員の皆様には、平素より当地区の諸活動に対し、ご指導ご協力を賜り誠にありがとうございました。

さて、2009年度地区長退任にあたり、一言ご挨拶申し上げます。

本年度は、「小集団活動を活性化し、現場力(職場力)の強化、人づくり、品質水準の改善・向上に貢献する」「環境変化にフレキシブルに対応し、地区組織を継続・発展させるための体制を確立する」「地区ニーズに合った魅力ある企画を創造し実行する」を方針として活動してまいりました。

2009年度は、100年に一度といわれる不況の中での厳しい経営環境にさらされ、行事参加者数の減や新型インフルエンザ流行による行事開催への懸念がありました。これら背景に対しまして役員各位の熱心な活動により、全ての年間活動が無事滞りなく完了できましたことは、会員及び幹事会員並びに役員各位のご支援とご協力の賜物であると感じております。

QCサークル活動の目指す人づくりは、どの様な場面でも通用する問題解決力や管理技術を有する積極性のある人材を育てることです。出口のないトンネルはありません、是非QCサークル活動を継続して頂き、職場における皆さんの改善力を駆使して、厳しい難局を乗り越える大きな力にしたいものです。

2010年度は顧問として取組んで参りますので、当地区の運営に対し、皆様方の変らぬご支援ご協力を引き続き宜しくお願い申し上げます。

2. 2009年度 QCサークル本部・支部活動方針

QCサークル活動の基本理念		
<p>人間の能力を発揮し、無限の可能性を引き出す 人間性を尊重して、生きがいのある明るい職場を作る 企業の体質改善・発展に寄与する</p>		
2009年度 QCサークル本部方針		
<p>* e-QCCを推進し職場を活性化しよう！</p>		
<p>企業・組織の目指すべき活動</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. チームワークを基本として改善に取り組み、仕事の達成感を味わう活動。 2. 高い満足度を目指して、職場の目標に挑戦する活動。 3. 自主的な取り組みを通して、自己成長をはかる活動。 4. 管理・監督者が支援し、それを通してマネジメント能力の向上をはかる活動。 5. 経営者がその必要性を認め、奨励する活動。 6. 非正社員を巻き込んだ全員参加の活動。 7. 開発・製造・営業・サービス・管理間接などの全部門で実践される、相互に連携した活動。 8. TQMや品質保証・安全管理などの全社的な活動と一体になった活動。 		
<p>具体的な展開：</p> <p>本部・支部・地区として取るべき行動(具体的取り組み例)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 経営者、管理者・監督者への継続的な働きかけ。(経営者フォーラムの開催、管理・監督者の事例発表) 2. 支部・地区活動を通じた、幹事の能力の着実な向上。(幹事能力レベル評価の活用) 3. 幹事会社・賛助会社に役に立つ発表会・研修会の開催。(企業・組織ニーズに応じた出前研修) 4. ものづくりを中心とした幅広い産業、日本の産業を支える中堅企業を巻き込んだ運営 (個別指導講座、エリア幹事会社制度 等の具体的仕掛け活用) 5. 地区長会社・支部長会社の負荷を軽減するための運営の効率化。(幹事制度にこだわらず負荷の分散) 6. 推進方法に関するベストプラクティスの共有。(事例集の作成・相互研修) 7. 行政や他の推進組織との密接な連携。(大会の共催、地域・行政と協力した取り組み) 8. 地域に密着した、地域の事情にあった柔軟な運営。(普及・拡大のための具体的ツールの開発・活用) 		
関東支部中期ビジョン(2009～2011年)		
<p>『現場力・職場力の向上、人財育成、品質の改善・向上に資するQCサークル活動を継続的に進化させていく』ことを基本として、支部・地区が一体となって改革を推進する <支部運営の目指す姿> 原点となる地区活動との共働、支援、コミュニケーションの徹底</p>		
2009年度 QCサークル関東支部活動方針(案)		
<p>幹事会社・幹事の増加及びJHS部門の活性化をめざし、下記重点実施項目を推進する。 目標：幹事(会社)増(各地区 幹事会社1社 または 幹事1人 以上/年)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 現場力・職場力の強化、職場の人づくりの実践、品質水準の改善・向上 <ol style="list-style-type: none"> 1.1 経営者・管理者フォーラムを通じ、経営者・管理者の率先垂範を醸成する。 1.2 医療・福祉、JHS部門、中小企業など幅広い小集団改善活動の推進 1.3 運営事例のガイドブックの作成・共有化と支援体制の確立 2. 幹事会社及び幹事のメリットの追究と幹事の力量向上 <ol style="list-style-type: none"> 2.1 地区幹事研修会の実態把握・レベルアップツールの検討 2.2 支部内外の交流を通じ、ベストプラクティスの共有を推進する。 3. 支部・地区活動の運営の効率化のための継続的な推進 <ol style="list-style-type: none"> 3.1 支部長会社、地区長会社の負荷を軽減するための運営の効率化(目標：10%削減) 3.2 地区間の重複業務の見直し・改善と連携の推進 4. 支部45周年記念事業の立案・実施 		
2009年度の主たる会議(概要)		
会 議	支部幹事会	4回開催(5/15, 7/13, 9/11～12, 11/27)
	支部事務局会議	2回開催(5/15, 9/11～12)
	支部企画委員会 (支部・地区改革推進委員会)	原則として幹事会の1週間前に開催(5/8, 7/13, 9/4, 11/20)／支部活動の方向性検討、施策立案
	支部表彰委員会	大会開催前日に目線合わせを目的に実施

3. 2009年度 QCサークル埼玉地区活動方針

基本方針

会員同士の強固な連携により、地区内企業・団体のために「QCサークルの基本」並びに「e-QCCビジョン」を尊重し、QCサークル活動の活性化とレベルアップを図ることによって、産業界の発展に寄与する。

年度方針

1. 小集団活動を活性化し、現場力(職場力)の強化、人づくり、品質水準の改善・向上に貢献する。
2. 環境変化にフレキシブルに対応し、地区組織を継続・発展させるための体制を確立する。
3. 地区ニーズに合った魅力ある企画を創造し実行する。

重点施策

1. 小集団活動を活性化し、現場力(職場力)の強化、人づくり、品質水準の改善・向上に貢献する。

- ①下記ニーズのある行事をより魅力ある企画にすべく充実させる。
 - イ. 春季発表大会
 - ロ. 改善事例選抜大会
 - ハ. 夏季発表会
 - ニ. ワイガヤ発表会
 - ホ. 企業見学交流会
 - ヘ. QCサークル活動の基礎研修会
 - ト. 小集団活動リーダー研修会
 - チ. QC手法実践活用研修会

- ②広報活動を充実させる。
 - イ. ニュース速報を発行する。
 - ロ. ホームページを充実する。

2. 環境変化にフレキシブルに対応し、地区組織を継続・発展させるための体制を確立する。

- ①新規会員の加入促進を図る。
- ②主要会員に対する幹事会員移行の働きかけを継続する。
- ③幹事会社のメリットを充実させ、幹事会社を増やす。
- ④幹事のスキルアップ研修の充実を図る。
- ⑤年次に県北、県南2会場で代表者・窓口担当者会議を実施する。
- ⑥地区運営の効率化を目指し、輪番制の改定。

3. 地区ニーズに合った魅力ある企画を創造し実行する。

- ①他地区活動のベンチマーキングを継続する。
- ②本部、支部との連携強化、他地区との情報交流を密にする。
- ③「QCサークル本部登録」の推進を図る。
- ④35周年記念行事を検討する。

目標値

1. 会員会社数	100社	(2008年度	118社)
2. 行事参加企業数	80社	(2008年度	102社)
3. 行事有料総参加者数	800名	(2008年度	937名)
4. 行事参加者満足度(大会)	80%以上	(2008年度	91.2%)
行事参加者満足度(研修)	80%以上	(2008年度	82.1%)
5. 幹事会員会社数	15社	(2008年度	12社)

運営の特徴

1. コミュニケーションを図りいきいきとした組織づくりを推進する。
2. 会員ニーズを尊重した地域密着型の活動を展開する。

4-①. 2009年度 QCサークル埼玉地区 活動状況

方針
の
実
施
状
況

重点施策 1-①ニーズのある行事をより魅力ある企画にすべく充実させる。

1. 福祉関係では、サービスの質の把握が困難といわれてきたが、福祉QC活動は、サービスの質の向上や均質化が図られ、人材の育成にも活用できることから、春季と夏季発表会において、3施設からエントリーして頂き、その成果を堂々と発表するなど聴講参加者に感銘を与えた。
2. 発表大会での特別講演を参加者の興味を抱くスポーツ界から招聘し、春季は「義足のプロアスリートへ」をテーマにスポーツにおける敗因の追究、改善を通して、QCサークル活動に通じる内容を講演して頂いた。また、選抜大会では「地域の元気促進のために」をテーマに地元サッカーチームの浦和レッドダイヤモンズの地域スポーツ文化を育む活動や、地域貢献の取り組みなどを紹介してもらった。
3. 企業見学交流会では、目覚ましい企業活動を行なっている、自動車部品とDMCソリューション関係の2社にて開催した。最新の技術革新や多様化する市場ニーズに対応する企業を見学することと、GDによる交流を通して、参加者の満足度を押し上げた。
4. ワイガヤ発表会を拡充し、2社に新参エントリーして頂いた。
5. 基礎研修会では、GDやクイズなどを設定し、考え、話す、発表する参画型とし、テキストと講義用パワーポイントを同一とし、受講者の戸惑いを少なくした。
6. 新たな研修会の企画としてリーダー研修会を実施した。ダーツゲームを通して実際のデータを取得しながらGDを行い、PCを活用して問題解決手順を学んで頂いた。
7. QC手法実践活用研修では昨年度は3日間コースで実施したが、現場の改善活動に最も活用される手法を優先し研修日数を2日間に短縮、役員の負荷軽減と研修効率を上げた。

重点施策 1-②広報活動を充実させる

1. QCサークル埼玉地区ニュース(第1号～第3号)を発行し、タイムリーに会員や役員、支部への地区活動の周知を図った。
2. 地区ホームページはイメージの刷新を行い、本部登録記事・支部関連記事・資格奨励制度を掲載した。

重点施策 2-①新規会員の加入促進を図る。(目標100社)

1. 年初に非会員会社の08年度QCサークル誌購読企業95社と大会・発表会参加企業12社へ地区活動案内を作成し、新規会員加入のお願いを発送した。
 加入不可返信⇒ ・5社
 加入申込み⇒ ・(株)ソーシン 6月入会
2. 09春季発表大会非会員参加企業(以下)への会員加入へのお願いを実施。
 加入不可返信⇒ ・新生精機株式会社、松田技術経営研究所、増幸産業株式会社
3. 役員・個人の紹介による加入促進
 会員加入⇒ ・(株)アドバンス 6月入会 (株)コーセイ
 ・インターコスメ(株)埼玉事業所 6月入会 (株)コーセイ
 ・インターコスメ(株)群馬事業所 6月入会 (株)コーセイ
 ・障害者支援施設 はくちょう園 7月入会 (愛泉園 伍井施設長)
 ・デリカエース(株)上尾事業所 8月入会 (廣瀬世話人)
 加入見送り⇒ ・天昇電気工業(株) (大崎電気高岡製造部長)
 ・ユニプラ(株) (渡辺指導員)
 ・モリヤ(株) (渡辺指導員)
 交渉中⇒ ・タツムテクノロジー (渡辺指導員)

重点施策 2-②③主要会員に対する幹事会員移行の働きかけを継続する。

1. 年初、会員入会案内に【お引受け】【お引受け出来る時期】等の展開を行った。
2. 代表者・窓口担当者会議にて、幹事会員へのアンケートを取得した。
3. 廣瀬世話人の紹介で(株)ボッシュに訪問し、次年度からの幹事会員を受諾した。(6月17日訪問)

重点施策 2-④幹事のスキルアップ研修の充実を図る。

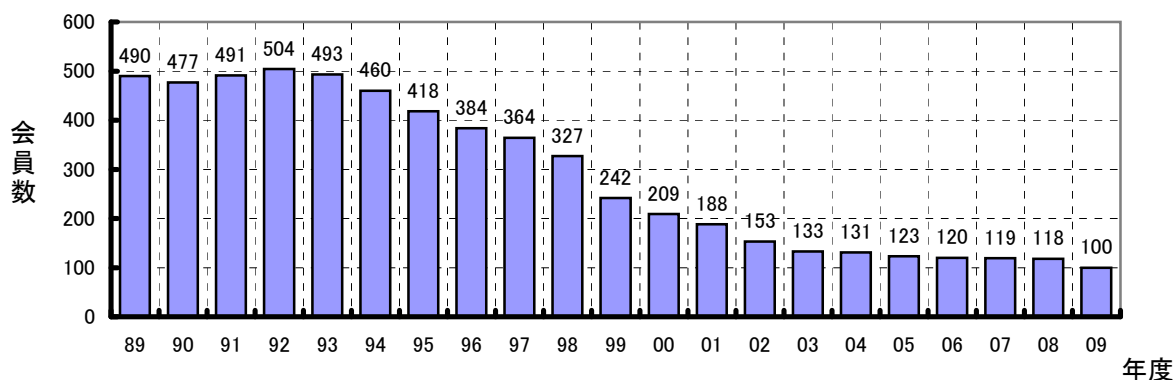
1. 新任幹事研修会の開催、幹事の心構えなど知識を身に付けて頂きました。(幹事2名、指導員1名)
2. 第1回役員研修会の開催、「QCサークル活動の運営推進事例に学ぶ」をテーマに幹事会社3社の推進事例と廣瀬世話人からは「ものづくりは、人づくりから」と題して講演を頂きました。その後、GDによるコミュニケーションを図り、親和図法を活用して運営のノウハウをまとめ上げました。
3. 第2回役員研修会の開催、ダーツゲームを通して、問題解決手順を役員自ら体験を行いました。この研修は、研修グループ行事のリーダー研修会プランを試行的に実施し、企画検証を行ないました。

4-②. 2009年度 QCサークル埼玉地区 活動状況

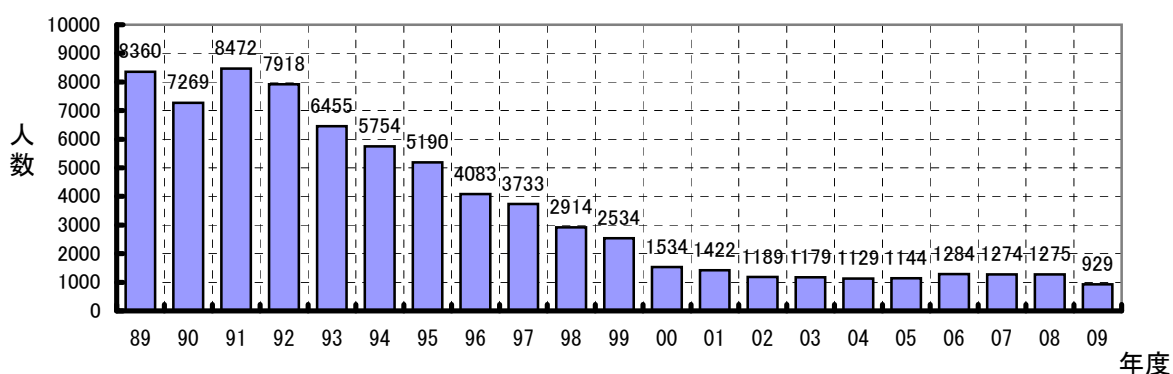
方針の実施状況	<p>重点施策 2-⑤年初に県北、県南2会場で代表者・窓口担当者会議を実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地区活動の実態、QCC活動の事例紹介や工場見学を通じて、その有効性を理解して頂き、QCC活動の活性化へ繋げることを目的に開催した。県北会場は4月16日に富士電機機器制御(株)にて開催し、県南会場は4月23日に(株)コーサーにて開催した。 <p>重点施策 2-⑥地区運営の効率化を目指し、輪番制の改定。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地区規則を改定し、大会ミニ企画グループ・研修グループの企画運営の効率化を図った。 <p>重点施策 2-その他</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 新型インフルエンザの流行に対処すべく、危機管理委員会設置規則を制定する。 2. 地区の持続的発展に寄与することを狙いとして、QC検定資格取得奨励金規則を制定する。 3. 地区会計処理細則を見直し、会計処理の効率的運用を図るべく規則として制定する。 4. 審査・表彰規定を規則として改定、規則集を制定し編入することで、地区規則を1本化した。 <p>重点施策 3-①他地区活動のベンチマーキングを継続する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 京浜地区ステップアップ大会1名参加 2. 関東支部運営事例選抜大会12名参加（内、運営役員4名） 3. QCC本部全日本選抜QCサークル大会10名参加 4. 京浜地区オール京浜改善事例大会2名参加 5. 福祉QC全国発表大会3名参加 6. 関東支部改善事例チャンピオン大会18名参加（内、運営役員3名） <p>参加者には行事参加報告書の提出を行ってもらい、情報の共有化と地区への水平展開等に活用して行く。</p> <p>重点施策 3-②本部・支部との連携強化、他地区との情報交流を密にする。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 本部・支部外部活動への出席 2. 支部・外部行事への参加 <p>重点施策 3-③「QCサークル本部登録」の推進を図る</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 会員へ「本部登録のお願い」パンフレットの郵送を行った。 2. 代表者・窓口担当者会議にて、登録方法の詳細説明を実施した。 3. 地区HPに「登録のお願い」とインターネット登録方法を掲載する。 <p>・QCサークル本部登録⇒ 2009年4月6日現在)497サークル(メンバー3833名)のところ 2010年1月26日現在) 518サークル(メンバー3937名)で21サークル増加。</p>																																	
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>項 目</th> <th>08実績</th> <th>09目標</th> <th>09実績</th> <th>達成率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1. 会員数</td> <td>118会員</td> <td>100会員</td> <td>100会員</td> <td>100.00%</td> </tr> <tr> <td>2. 行事参加社数(延べ参加社数)</td> <td>102社(250社)</td> <td>80社</td> <td>59社(164社)</td> <td>73.75%</td> </tr> <tr> <td>3. 行事有料参加者数</td> <td>937名</td> <td>800名</td> <td>580名</td> <td>72.50%</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">4. 行事参加者満足度</td> <td>大会等</td> <td>91.20%</td> <td>80.00%</td> <td>87.00%</td> </tr> <tr> <td>研修会</td> <td>82.10%</td> <td>80.00%</td> <td>78.70%</td> </tr> <tr> <td>5. 幹事会員数</td> <td>12会員</td> <td>15会員</td> <td>12会員</td> <td>80.00%</td> </tr> </tbody> </table>	項 目	08実績	09目標	09実績	達成率	1. 会員数	118会員	100会員	100会員	100.00%	2. 行事参加社数(延べ参加社数)	102社(250社)	80社	59社(164社)	73.75%	3. 行事有料参加者数	937名	800名	580名	72.50%	4. 行事参加者満足度	大会等	91.20%	80.00%	87.00%	研修会	82.10%	80.00%	78.70%	5. 幹事会員数	12会員	15会員	12会員
項 目	08実績	09目標	09実績	達成率																														
1. 会員数	118会員	100会員	100会員	100.00%																														
2. 行事参加社数(延べ参加社数)	102社(250社)	80社	59社(164社)	73.75%																														
3. 行事有料参加者数	937名	800名	580名	72.50%																														
4. 行事参加者満足度	大会等	91.20%	80.00%	87.00%																														
	研修会	82.10%	80.00%	78.70%																														
5. 幹事会員数	12会員	15会員	12会員	80.00%																														
特記事項	<ol style="list-style-type: none"> 1. 2009年度は会員数95でスタート。途中退会1会員、途中入会6会員 2. 行事参加社数59社の内、会員51会員(86%)、非会員8社であった。(幹事会社12社) 																																	
反省事項	<ol style="list-style-type: none"> 1. 会員会社への幹事会員移行へのご案内を行ったが、結果しなかった。 2. 行事開催における参加募集人員を低く見積もったが、景況感の影響で未達だった。 																																	
今後の課題	<ol style="list-style-type: none"> 1. 会員の行事参加率が低い(約50%)。 2. 幹事会員移行への促進。 3. 地区長会社受諾まで時間を要す。 																																	

5. 2009年度 QCサークル埼玉地区 各種指標の推移

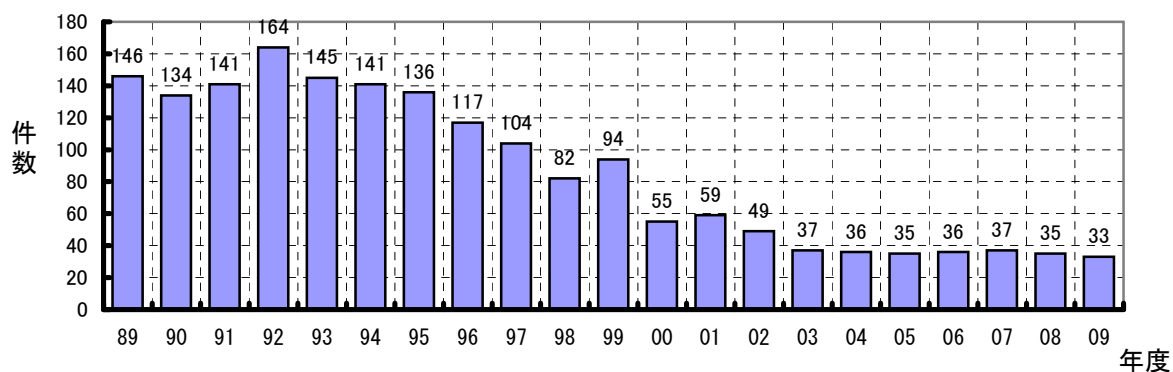
1. 会員数の推移



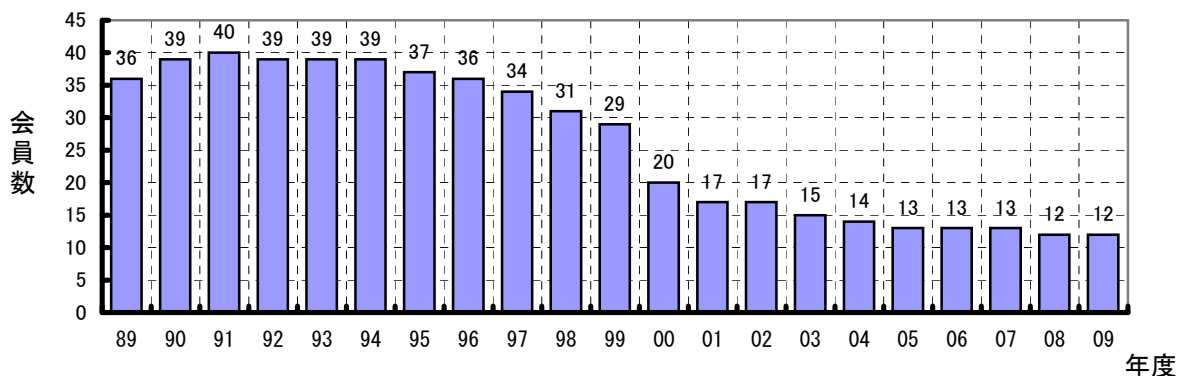
2. 行事参加者数の推移



3. 発表総件数の推移



4. 幹事会員数の推移



6. 2009年度 QCサークル埼玉地区 満足度アンケート結果

大会名	満足度	とても良かった (満足)	良かった (ほぼ満足)	普通 (中間)	あまり良 くなかつ た (やや不満)	良くな かつた (不満)	計 (人)
小集団活動 春季発表大会	人数	36	48	21	—	—	105
	率	34.0%	79.0%	46.0%	20.0%	—	
小集団活動 夏季発表会	人数	25	53	8	—	—	86
	率	29.0%	91.0%	62.0%	9.0%	—	
小集団活動 ワイガヤ発表会	人数	32	33	6	—	—	71
	率	45.0%	92.0%	47.0%	8.0%	—	
改善事例選抜大会	人数	19	38	12	—	—	69
	率	28.0%	83.0%	55.0%	17.0%	—	
大会・発表会 合計	人数	112	172	47	—	—	331
	率	34.0%	52.0%	14.0%	—	—	
企業見学交流会① ジェコー(株)	人数	16	21	—	—	—	37
	率	43.0%	100%	57.0%	—	—	
企業見学交流会② (株)安川電機	人数	20	18	5	—	—	43
	率	47.0%	89.0%	42.0%	11.0%	—	
企業見学交流会 合計	人数	36	39	5	—	—	80
	率	45.0%	49.0%	6.0%	—	—	
大会・発表会/交流会 合計	人数	148	211	52	0	0	411
	率	36.0%	87%	51.0%	13.0%	0.0%	

研修会名	満足度	大いに 役立った	かなり 役立った	まあ 役立った	やや不 満	全く役に 立たな かつた	計 (人)
QCサークル活動の 基礎研修会	人数	15	18	6	1	0	40
	率	37.5%	82.5%	45.0%	15.0%	2.5%	
QCサークル リーダー研修会	人数	13	14	2	0	0	29
	率	44.8%	93.1%	48.3%	6.9%	0.0%	
QC手法実践活用 研修会	人数	5	9	11	0	0	25
	率	20.0%	56.0%	36.0%	44.0%	0.0%	
研修会合計	人数	33	41	19	1	0	94
	率	35.1%	78.7%	43.6%	20.2%	1.1%	

※設問に未回答の人は除いてあります。

7. 2009年度 QCサークル埼玉地区 行事参加状況

<一般対象行事>

区分	開催月日	行事名	有料参加状況						招待者	発表サークル関係	役員・幹事・講師	参加人数総合計
			会員		非会員		小計					
			事業所数	参加人数	事業所数	参加人数	事業所数	参加人数				
発表会・交流会	5月27日	小集団活動春季発表大会	22	136	5	8	27	144	3	24	41	212
	6月11日	企業見学交流会①	17	35	1	2	18	37	0	5	20	62
	7月15日	小集団活動夏季発表会	19	93	1	1	20	94	0	17	21	132
	9月9日	企業見学交流会②	14	43	0	0	14	43	0	6	20	69
	10月6日	小集団活動ワイガヤ発表会	18	61	0	0	18	61	0	11	23	95
	11月26日	改善事例選抜大会	21	103	1	3	22	106	13	29	41	189
		小 計	111	471	8	14	119	485	16	92	166	759
研修会	5月19日 20日	QCサークル活動の基礎研修会	14	40	0	0	14	40	0	0	27	67
	9月15日 16日	QCサークルリーダー研修会	15	30	0	0	15	30	0	0	26	56
	12月3日 4日	QC手法実践活用研修会	15	24	1	1	16	25	0	0	22	47
		小 計	44	94	1	1	45	95	0	0	75	170
地区行事合計			155	565	9	15	164	580	16	92	241	929

<役員研修対象行事>

本部支部行事	7月14日	運営事例選抜大会	4	11	0	0	4	11	0	0	0	11
	9月4日	経営者フォーラム(中止)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	11月10日	全日本選抜QCサークル大会	4	10	0	0	4	10	0	0	0	10
	2月10日	改善事例チャンピオン大会	7	17	0	0	7	17	0	0	0	17
		小 計	15	38	0	0	15	38	0	0	0	38
他地区	6月5日	京浜地区ステップアップ大会	1	1	0	0	1	1	0	0	0	1
	9月30日	群馬地区秋季総合大会	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	12月8日	京浜地区オール京浜改善事例大会	2	2	0	0	2	2	0	0	0	2
	12月8日	福祉QC全国発表大会	2	3	0	0	2	3	0	0	0	3
		小 計	5	6	0	0	5	6	0	0	0	6
総合計			20	44	0	0	20	44	0	0	0	44

<幹事対象行事>

開催日	行事名	世話人	地区正副長	指導員	幹事	一般	講師	委員	運営	合計
4月27日	新任幹事研修会	0	0	1	2	0	1	3		7
4月27日	第1回役員研修会	1	0	8	15	0	1	3		28
7月24日	第2回役員研修会	1	1	9	12	0	1	1		25
総合計		2	1	18	29	0	3	7		60

8. 2009年度 運営グループ所管会議報告

会議名	開催日	曜日	出席者数	主な議題	
	開催場所				
幹事会	2008年度 第4回幹事会	3月6日	金	36人	1. 2008年度活動報告(案) 2. 2008年度決算(案)
		富士電機機器制御(株)吹上事業所			
	2009年度 第1回幹事会	3月6日	金	36人	1. 2009年度活動方針&行事計画(案) 2. 2009年度予算(案)
		富士電機機器制御(株)吹上事業所			
	第2回幹事会	7月24日	金	27人	1. 2009年度中間(3月~7月)活動報告 2. 2009年度中間(3月~7月)会計収支報告 3. 危機管理委員会設置(案)審議 4. 35周年記念事業準備委員会設置(案)審議
		富士電機機器制御(株)吹上事業所			
	第3回幹事会	10月22日	木	29人	1. 2009年度中間(8月~10月途中)活動報告 2. 地区会計処理規則の改定(案)審議 3. 2010年度活動方針・方向性検討
		富士電機機器制御(株)吹上事業所			
	臨時幹事会	11月12日	木	21人	1. 2010年度活動方針(案)骨子説明審議 2. 各グループ2010年度計画(案)策定
		(株)コーセー狭山事業所			
2009年度 第4回幹事会	3月5日	金	37人	1. 2009年度活動報告(案) 2. 2009年度決算(案)	
	(株)コーセー狭山事業所				
2010年度 第1回幹事会	3月5日	金	37人	1. 2010年度活動方針&行事計画(案) 2. 2010年度予算(案)	
	(株)コーセー狭山事業所				
グループ 長会議	第1回グループ長会議	5月29日	金	9人	1. 第1回幹事会以降の活動報告 2. 第1回幹事会付議事項の審議
		富士電機機器制御(株)吹上事業所			
	第2回グループ長会議	9月29日	火	10人	1. 第2回幹事会付議事項の審議 2. 第2回幹事会以降の活動報告 3. 会計見直し案審議 4. 地区規則集案の審議
		富士電機機器制御(株)吹上事業所			
	第3回グループ長会議	1月20日	水	10人	1. 第3回・臨時幹事会付議事項 2. 幹事会付議事項以外の重要事項 3. 各グループ活動報告 4. 地区規定改定案と地区規則集案の審議
		富士電機機器制御(株)吹上事業所			
運営 グループ 会議	第1回運営グループ会議	4月9日	木	11人	1. 第1回幹事会諮問事項、付議事項確認 2. 運営グループの課題と解決策の策定 3. 新任幹事研修会及び役員研修会の検討 4. 代表者・窓口担当者会議準備について
		富士電機機器制御(株)吹上事業所			
	第2回運営グループ会議	5月25日	金	4人	1. グループ長会議事前準備 2. 運営グループの課題と解決策の策定 3. 代表者窓口担当者会議評価まとめ 4. 新型インフルエンザ対策の検討
		(株)コーセー狭山事業所			
	第3回運営グループ会議	7月8日	水	6人	1. 第2回役員研修会の検討 2. 第1回グループ長会議の評価まとめ 3. 幹事会事前準備の検討
		富士電機機器制御(株)吹上事業所			
	臨時運営グループ会議	9月7日	月	5人	1. 35周年記念事業準備委員会会議の評価まとめ 2. 第3回幹事会1日開催の素案検討 3. その他
		富士電機機器制御(株)吹上事業所			
	第4回運営グループ会議	9月18日	金	6人	1. 会計処理規則案の検討 2. 審査表彰規定の一部見直し検討
		(株)コーセー狭山事業所			
第5回運営グループ会議	10月14日	水	7人	1. 第2回グループ長会議の評価まとめ 2. 第3回幹事会事前準備検討	
	富士電機機器制御(株)吹上事業所				
第2回臨時運営グループ 会議	10月27日	火	7人	1. 第3回幹事会諮問事項評価検討 2. 2010年度活動方針方向性検討	
	(株)コーセー狭山事業所				
第6回運営グループ会議	12月9日	水	6人	1. 2010年度活動方針の確認 2. 地区規定規則の改定の検討	
	(株)コーセー狭山事業所				
第7回運営グループ会議	2月25日	木	7人	1. 地区規定規則の改定案の確認 2. 2010年度活動計画&予算案……その他	
	富士電機機器制御(株)吹上事業所				

2009年度 3地区(埼玉・京浜・神奈川)合同ミーティング

会議名	開催日	出席者	主な議題	
	開催場所			
三地区	第1回合同ミーティング	4月21日 日産自動車(株)本社	高橋公明 古賀逸明	1. 09年度各地区活動計画の概要と特徴点 2. 地区の課題と今後の進め方
	第2回合同ミーティング	6月23日 日産自動車(株)本社	高橋公明 古賀逸明	1. 09年度各地区活動状況 2. 地区の課題と今後の進め方
	第3回合同ミーティング	10月2日 日産自動車(株)横浜	古賀逸明	1. 各地区活動状況

9. 2009年度 35周年記念事業準備委員会所管会議報告

会議名	開催日	曜日	出席者数	主な議題
	開催場所			
35周年記念事業準備委員会	8月25日	火	9人	1. 35周年記念事業準備委員会設置規則の確認 2. 35周年記念事業準備委員の確認 3. 記念行事の確認 4. 会議スケジュールの確認
	(株)コーセー狭山事業所			
	9月29日	火	10人	1. 出前研修の検討 2. 記念誌の検討
	富士電機機器制御(株)吹上事業所			
	11月30日	月	11人	1. 出前研修の検討 2. 記念誌発行の検討 3. 冠大会の検討
(株)コーセー狭山事業所				
12月22日	火	7人	1. 今会議までの確認事項 2. 研修希望会社のニーズ調査・対応と担当者検討 3. 講師料、研修費用の確認	
(株)コーセー狭山事業所				
1月25日	月	11人	1. 役員の研修スキルマップの確認と検討 2. 研修項目とテキストの検討 3. 規則改定について 4. 出前研修希望会社訪問の検討	
(株)コーセー狭山事業所				

1. 出前研修

①分科会で進める。

分科会メンバー 廣瀬世話人・腰塚指導員・小林指導員・○高橋幹事長・武井幹事
大箱幹事・古賀幹事長・増村幹事 (○印:リーダー)

②これまでの決定事項

- ・出前研修費用⇒1万円(1日 9:00~17:00 1研修)
- ・会員会社へアンケートを実施しニーズを把握する。
- ・テキストの整理(済)

③今後の検討内容

- ・規則の改定⇒交通費・宿泊費・活動費支給規則
- ・指導員・幹事の技能マップを作成する。
- ・希望会社へ訪問し詳細研修を確認する。⇒2人ペアで行なう。
- ・不足テキストの作成
- ・出前研修の日程化及び講師の決定

2. 35周年記念誌の発行

①分科会で進める。

分科会メンバー 大熊指導員・○奥田幹事・和田幹事・古賀副幹事長・増村幹事
(○印:リーダー)

②これまでの決定事項

- ・記念誌を発行する。
- ・記念誌の掲載項目
世話人・地区長挨拶
5年間のあゆみ(2006年~2010年)
会員会社対象の一般行事のあゆみ
全日本選抜・関東支部運営事例選抜・関東支部改善事例チャンピオン大会出場サークル
写真で見る地区・大会・ミニ行事
歴代地区長会社一覧、歴代役員一覧、歴代幹事一覧
- ・発行日⇒2011年3月

③今後の検討内容

新年度に入ってから準備を行う。

3. 冠大会

①大会ミニ企画グループと連携して進める。

②これまでの決定事項

- ・冠大会は「2010年度 改善事例選抜大会」とする。
- ・冠は「35周年記念」のみ付けるだけで特別なイベントは行わない。
ただし、特別講演者は35周年にふさわしい人を選ぶ。

4. その他

①記念祝賀会などは行わない

②予算は極力抑える(一般経費が赤字財政でこの先も厳しい。40周年記念事業へ繰越も考慮が必要)

10. 2009年度 外部活動出席報告

【QCサークル関東支部各種会議】

会議名	開催日	曜日	出席者	主な議題
	開催場所			
支部総会	3月13日	金	高橋公明 北島憲造	1. 2008年度支部総会 2. 08・09年度引き継ぎ 3. 09年度支部活動方針(案)、予算(案) 4. 09年各地区活動方針 5. QCサークル本部報告
	セイコーエプソン(株) 本社			
第1回 幹事会	5月15日	金	高橋公明 古賀逸明	1. 支部活動状況報告 2. 危機管理委員会の設置・運営事例企画予算 3. 支部改革推進委員会状況報告 4. 経営者フォーラム企画 5. 福祉QC支援活動状況報告
	セイコーエプソン(株) 本店			
第1回 事務局会議	5月15日	金	木村茂 増村幾子	1. 本部全国事務局会議参加報告 2. 運営事例企画書、予算計画報告 3. 支部改革推進委員会状況報告 4. 支部・地区事務局の役割りについて 5. 本部事務局報告
	セイコーエプソン(株) 本店			
QC関東支部 東海支部支部間交流会	6月3日～4日	水・木	—	—
	中止			
第1回 世話人・地区長会議	6月26日	金	廣瀬正敏 小玉辰朗	1. 支部現況報告 2. 各地区の現況報告 3. 支部改革プロジェクト報告 4. 支部課題検討、意見交換
	セイコーエプソン(株) 本店			
第2回 幹事会	7月13日	月	高橋公明 古賀逸明	1. 支部現況報告 2. 各地区活動状況報告(埼玉、栃木、山梨) 3. 支部プロジェクト報告
	埼玉会館			
経営者フォーラム 世話人会 地区長会議	9月4日	金	中止	—
	セイコーエプソン(株) 本店			
第3回幹事会 第2回事務局合同会議	9月11日	金	高橋公明 古賀逸明 増村幾子 木村茂	1. 支部活動状況報告 2. 運営事例選抜大会報告 3. 2010年度支部方針・行事計画 4. 支部・地区運営の現況報告
	セイコーエプソン(株) 本店			
第4回幹事会	11月27日	金	高橋公明 古賀逸明	1. 支部活動状況報告 2. 2009年度支部会計中間報告 3. 2010年度支部活動方針・行事計画(案) 審議・承認 4. 改善事例チャンピオン大会/JHS運営事例選抜大会企画 ※聴講参加動員の各地区割振り目標(案) 及びDM郵送先削減に向けた施策事前検討
	セイコーエプソン(株) 本店			
世話人会	1月22日	金	廣瀬正敏	1. 関東支部の状況説明 2. 支部改革プロジェクト進捗状況説明 3. 各地区の状況 4. その他
	セイコーエプソン(株) 本店			

11. 2009年度 本部・支部 外部行事参加状況

【本部・支部 外部行事参加状況】

会議名	開催日	曜日	出席者	内容
	開催場所			
京浜地区 ステップアップ大会	6月5日	金	古賀	1. フレッシュサークル9サークルの発表 2. 参加者規模:200名 3. 特別講演者:瀧沢氏(日野自動車) 4. 講演テーマ:「厳しい時代を改善パワーで乗り越えよう!」
	練馬文化センター 小ホール			
関東支部 運営事例選抜大会	7月14日	火	廣瀬・小玉 菅原・渡辺 三ツ橋・今石 増村・木村 <運営委員> 根岸・高橋公 古賀・高橋日	1. 全国大会出場の代表選抜大会 2. 参加者規模:400名超 3. 発表サークル:(JHS)3、(PN)9 4. 埼玉地区:(株)コーセー・KYB(株)が (株)コーセーが見事に 出場権を獲得 5. 特別講演者:棚邊一雄氏(となみの工業 (株)) 講演テーマ:「人間力を出し切れる 企業環境を目指して」
	埼玉会館			
QCサークル本部 全日本選抜 QCサークル大会	11月10日	火	廣瀬・小玉 古賀・渡辺 菅原・奥田 増村・和田 今石・木村	1. 第39回全日本選抜大会 2. 参加者:1,000名超 3. 発表サークル:全国8支部18サークル 4. 埼玉地区より出場:(株)コーセー・KYB(株) 5. (株)コーセーのフィルバージョンVサークルが金賞受賞
	日比谷公会堂			
京浜地区 オール京浜改善事例大会	12月8日	火	古賀・木村	1. オール京浜創立45周年記念大会 2. 関東支部チャンピオン大会への代表選出 3. 参加規模:200名超 4. 発表サークル数:8サークル(内JHSは1) 5. 特別講演:蛇川相談役(日野自動車)
	きゅりあん			
福祉QC 全国発表大会	12月8日~9日	火・水	大箱・増村 腰塚	1. 社会福祉法人全国社会福祉協議会 日本福祉施設士会 2. 日本福祉施設士会創立30周年記念大会 3. 参加規模250名 4. 会場6会場発表数60サークル 5. 埼玉県からは、愛の泉・美咲会みずほ苑・ はくちょう園の合わせて6サークルが 出場
	全社協・灘尾ホール			
支部改善事例 チャンピオン大会	2月10日	水	廣瀬・北島 腰塚・大熊 小林・渡辺 新井・奥田 飯田・大箱 和田・今石 甲・木村 高橋日 <運営委員> 根岸 高橋公・古賀	1. 関東支部9地区代表のチャンピオンを決定 2. 参加者規模:800名募集 3. 発表サークル 総合部門9・JHS7・JHS運営4 4. 埼玉地区出場:日産ディーゼル工業(株)(総合) ぺんてる(株)(JHS) KYB株(JHS運営) 5. 特別講演者:大鶴英嗣(パナソニック(株)) 講演テーマ:「企業の活カ一現場カ一」
	埼玉会館			

12-①. 2009年度 代表者・窓口担当者会議(県北)報告

《運営グループ所管行事》

開催月日：2009年4月16日(木)

開催場所：富士電機機器制御(株)吹上事業所(鴻巣市南1-5-45)

行事委員長：富士電機機器制御(株)吹上事業所

参加者：代表者2名、窓口担当者8名、幹事11名(計21名)

説明：幹事長 高橋幹事長 (全体進行：木村事務局)

狙い：QCサークル埼玉地区活動の実態やQCサークル活動の事例紹介・工場見学を通じて、その有効性を認識していただき、会員会社・幹事会社増につなげる。

運営上の工夫：①参加者との相互理解を深める為、レイアウトはコの字型にして実施した。

②アンケートを記入してもらい、会員会社の本音を伺った。

③会議終了後、情報交流会を開催し会員会社との交流を深めた。

④工場見学を実施し、QCサークル活動の実際を見ていただいた。

結果：①会員会社の会社内におけるQC活動の悩み等、活発な発言があり意見交換が出来た。

②参加者から社内、他地区への展開を図り、会員会社の紹介を検討したい等の確約をいただいた。

*アンケート集計結果より

次年度への課題：①もっと多くの会員会社を集めて継続して行く。

②GD方式の検討(参加者が多数の場合)。

③工場見学の所要時間を増やす。

*アンケート集計結果より

基本プログラム

時間割	講義内容
13:10～13:40	受付
13:40～13:45	開会挨拶
13:45～13:50	自己紹介
13:50～16:55	<ul style="list-style-type: none"> ・2009年度地区活動方針・行事計画 ・地区運営について サークル登録について 埼玉地区ホームページの案内 ・QCサークル活動推進事例紹介 ・工場見学 ※途中休憩15分 ・アンケート記入
16:55～17:00	閉会挨拶
17:00～18:00	情報交流会

▼ 地区活動の説明：高橋幹事



▼ サークル活動紹介



▼ 意見交換



12-②. 2009年度 代表者・窓口担当者会議(県南)報告

《運営グループ所管行事》

- 開催月日：2009年4月23日(木)
 開催場所：(株)コーセー 狭山事業所(狭山市富士見2-20-1)
 行事委員長：富士電機機器制御(株)吹上事業所
 参加者：代表者3名、窓口担当者7名、幹事7名(計17名)
 説明：幹事長 高橋幹事長 (全体進行:増村副事務局)
 狙い：QCサークル埼玉地区活動の実態やQCサークル活動の事例紹介・工場見学を通じて、その有効性を認識していただき、会員会社・幹事会社増につなげる。
- 運営上の工夫：①参加者との相互理解を深める為、レイアウトはコの字型にして実施した。
 ②アンケートを記入してもらい、会員会社の本音を伺った。
 ③会議終了後、情報交流会を開き会員会社との交流を深めた。
 ④工場見学を実施し、QCサークル活動の実際を見ていただいた。
- 結果：①会員会社の会社内におけるQC活動の悩み等、活発な発言があり意見交換が出来た。
 ②複数の参加者から、会員会社の紹介を検討したい・・・との意見を頂いた。
 *アンケート集計結果より
- 次年度への課題：①もっと多くの会員会社を集めて継続して行く。
 ②GD方式の検討(参加者が多数の場合)。
 ③意見交換の時間を増やす。
 *アンケート集計結果より

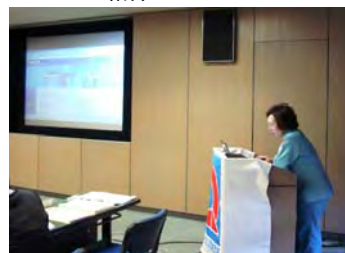
基本プログラム

時間割	講義内容
13:10~13:40	受付
13:40~13:45	開会挨拶
13:45~13:55	自己紹介
13:55~16:55	<ul style="list-style-type: none"> ・2009年度地区活動方針・行事計画 ・地区運営について サークル登録について 埼玉地区ホームページの案内 ・QCサークル活動推進事例紹介 ・工場見学 ※途中休憩15分 ・アンケート記入
16:55~17:00	閉会挨拶
17:00~18:00	情報交流会

▼ 地区活動の説明：高橋幹事



▼ HP紹介



▼ 意見交換



13. 2009年度 新任幹事研修会報告

《運営グループ所管行事》

開催月日：2009年4月27日(月)
 開催場所：富士電機機器制御(株)吹上事業所 TW606会議室
 行事委員長：富士電機機器制御(株)吹上事業所
 受講者：新任幹事 2名(古賀幹事長・中出幹事) 菅原指導員(オブ参加)
 狙い：QCサークル埼玉地区の幹事として最低限これだけは知っておいていただきたい事を勉強し、身に付けていただく。

運営上の工夫：① 新任幹事研修用テキストを作成し実施した。
 ② 午前中に新任幹事研修を実施し、午後は役員研修会に参加していただいた。(2会場を設定)
 ③ 2009年度、新任指導員の菅原氏にもオブ参加して頂いた。

次年度への課題：① 開催時期は年度始めにこだわらず、年度途中で就任した幹事に対してはタイムリーに実施する。

基本プログラム

時間割	講義内容
10:00～10:05	1. 開会挨拶
10:05～10:10	2. QCサークル活動の歴史
10:10～10:15	3. QCサークル活動の基本
10:15～10:20	4. QCサークル活動の推進組織
10:20～10:40	5. 幹事の役割
10:40～11:00	6. 幹事の心構え
11:00～11:10	休憩
11:10～11:20	7. 幹事会員・幹事自身のメリット
11:20～12:00	8. QCサークル埼玉地区規定・規則

講師：高橋幹事長

▼開会挨拶をされる講師の高橋幹事



▼新任幹事研修会の全貌



▼意気込みを語ってもらいました



▼幹事として自覚が芽生えました



14. 2009年度 第1回役員研修会報告

《運営グループ所管行事》

- 開催月日：2009年4月27日(月)
 開催場所：富士電機機器制御(株)吹上事業所（鴻巣市南1-5-45）
 行事委員長：富士電機機器制御(株)吹上事業所
 参加者：6役3名、3役3名、指導員7名、幹事13名（計26名）
 講師：世話人 廣瀬正敏（全体進行：木村事務局）
 講演テーマ：「モノづくりは、人づくりから」
 GD演習：テーマ「QCサークル活動運営推進事例に学ぶ」
 運営推進事例の発表
 ①大崎電気工業(株)埼玉事業所⇒奥田幹事
 ②ジェコー(株)⇒磯川幹事
 ③富士重工業(株)産業機器カンパニー⇒岸幹事
 狙い：①講演・発表事例からQCサークル活動の運営推進事例のノウハウを学ぶ。
 ②現在の経済状況の背景を受けてQCサークル活動をどう運営すべきかを考える(対処方法等)
 ③GD等による役員間のコミュニケーションを図り、いきいきとした組織をつくる。
 運営上の工夫：①世界のトップレベルの技術・技能集団を目指す！日産ディーゼル工業(株)の模範的内容を講演していただいた。
 ② 幹事会社の中でも特徴的なサークル運営事例を紹介してもらった。
 ③ GDの実施や、親和図を作成するなど参加者の共同作業を行なった。
 結果：①講演内容について、人材育成の素晴らしい仕組みと推進組織が理解できた。
 ②運営事例発表によりプレゼン能力の向上が図れた。
 ③GD実施によりコミュニケーションが図れた。
 次年度への課題：①タイムリーな研修テーマを選定する。
 ② いろいろな共有題材について、役員自らチャレンジする。
 ③情報交換&意見交換の時間を増やす。

基本プログラム

時間割	講義内容
12:00～13:00	受付・昼食
13:00～13:05	開会挨拶
13:05～14:20	・講演 「モノづくりは人づくりから」 ・質疑応答
14:20～14:30	休憩
14:30～15:30	・幹事会社運営事例推進事例の紹介 1. 大崎電気工業(株) 奥田幹事 2. ジェコー(株) 磯川幹事 3. 富士重工業(株)産業機器カンパニー 岸幹事
15:30～16:55	・運営事例のノウハウを学ぶ 1. QC手法を使ってノウハウを纏める （親和図を作成する） 2. まとめ、結果発表
16:55～17:00	閉会挨拶

▼ 講演中の廣瀬世話人



▼ 運営事例の紹介



▼ GD・親和図の作成



15. 2009年度 第2回役員研修会報告

《運営グループ所管行事》

研 修 テ ー マ : 「ダーツゲームを通して問題解決能力アップとチームワークを養成する」

開 催 月 日 : 2009年7月24日(金)

開 催 場 所 : 富士電機機器制御(株)吹上事業所 テクノウイング棟 大ホール

行 事 委 員 長 : 富士電機機器制御(株)吹上事業所

受 講 者 : 幹事13名 指導員7名 副地区長1名 相談役1名 世話人1名 計23名

講 師 : 新井道夫 幹事 (フジノン(株))

狙 い : ダーツゲームを通し改善を行うことで、コミュニケーション、創造性、問題解決手順、QC手法などを学びながら問題解決能力のアップ、チームワークを養成する。

運 営 上 の 工 夫 : ダーツの工作やゲーム性を活用し、参加者に楽しみながら問題解決を体験して貰い、GD結果をPCに纏め発表した。また、最後にダーツ競技大会で各班の成果を競った。

結 果 : ゲーム性を取入れて競争意識が芽生え、和気藹々としたチームワークが養成できた。又、役員のスリルアップも図れるなど、有意義な役員研修会であった。

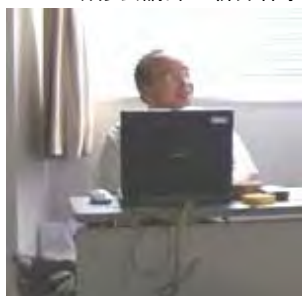
次年度への課題 : 役員、自らの体験を通しての研修会は現実性の高いスキルを得ることに繋がる。

今後も自社に展開できるような、具体的研修内容を検討すべきと考える。

基本プログラム

	時間割	内 容	担 当
1	13:10~13:15	オリエンテーション&講師紹介	木村事務局
2	13:15~13:20	開会挨拶	高橋幹事長
3	13:20~16:00	GDの進め方の説明 テーマ選定~目標 要因解析~対策 効果の確認・標準化・まとめ	講師 新井道夫 幹事 (フジノン(株))
4	16:00~16:40	発表	各グループ代表
5	16:40~16:50	ダーツ競技大会	各グループ代表
6	16:50~16:55	閉会挨拶	古賀副幹事長

▼研修会講師の新井幹事



▼ダーツでデータ取り



▼ GD風景



▼研修結果発表



16. 2009年度大会・ミニ企画グループ会議報告

月	日	曜	会議名称	開催場所	主な議題	特別テーマ
3	11	水	第1回 Gr会議	大崎電気工業(株) 出席者13名	・大会スローガンの決定 ・春季発表大会(企画)	・各行事の企画準備(運営の流れ) ・各マニュアルの共有化
4	20	月	第2回 Gr会議	(株)コーセー 出席者10名	・春季発表大会(企画) ・企業見学交流会①(企画)	・審査・講評マニュアルの確認 ・目線合わせ会議の持ち方進め方
5	21	木	第3回 Gr会議	(株)コーセー 出席者13名	・春季発表大会(企画) ・企業見学交流会①(企画)	
	21	木	審査委員&講評者 目線合わせ会議	(株)コーセー 出席者13名	・春季発表大会目線合せ	・講評役割演技の実践 ・ロール・プレイング
	27	水	春季発表大会			
6	5	金	第4回 Gr会議	本田技研工業(株) 出席者9名	・春季発表大会(総括) ・企業見学交流会①(企画) ・夏季発表会(企画)	・第1回グループ長会議の報告
	11	木	企業見学交流会① ジェコー(株)			
7	9	木	第5回 Gr会議	大崎電気工業(株) 出席者11名	・企業見学交流会①(総括) ・夏季発表会(企画) ・企業見学交流会②(企画)	・審査表彰規定見直しの検討
	9	木	講評者 目線合わせ会議	大崎電気工業(株) 出席者11名	・夏季発表会目線合せ	・講評役割演技の実践 ・ロール・プレイング
	15	水	夏季発表会			
8	19	水	第6回臨時Gr会議	富士電機機器制御(株)	・ワイガヤ発表会(企画)	・左記内容にて臨時開催(ワイガヤ発表会の協力員と交流会を実施した)
9	3	木	第7回 Gr会議	(株)安川電機	・夏季発表会(総括) ・企業見学交流会②(企画) ・ワイガヤ発表会(企画)	・企業見学交流会②の本番会場にて開催
	9	水	企業見学交流会② (株)安川電機			
10	2	金	第8回 Gr会議	富士電機機器制御(株)	・企業見学交流会②(総括) ・ワイガヤ発表会(企画) ・改善事例選抜大会(企画)	・大会・ミニ企画グループの課題及び各グループからの要請や課題を検討する
	2	金	講評者 目線合わせ会議	富士電機機器制御(株)	・ワイガヤ発表会目線合せ	・講評役割演技の実践 ・ロール・プレイング
	6	火	ワイガヤ発表会			
11	19	木	第9回 Gr会議	(株)安川電機	・ワイガヤ発表会(総括) ・改善事例選抜大会(企画)	・大会・ミニ企画グループの課題及び各グループからの要請や課題を検討する
	19	木	審査委員&講評者 目線合わせ会議	(株)安川電機	・改善事例選抜大会目線合せ	・講評役割演技の実践 ・ロール・プレイング
	26	木	改善事例選抜大会			
12	17	木	第10回 Gr会議	大崎電気工業(株)	・改善事例選抜大会(総括) ・年間総括 ・次年度行事計画策定	・大会・ミニ企画グループの課題及び各グループからの要請や課題を検討する

17. 2009年度 第5091回小集団活動春季発表大会 《大会・ミニ企画Gr所管行事》

開催場所：さいたま市民会館うらわ(所在地：埼玉県さいたま市浦和区仲町2-10-22)
 正副行事委員長：(株)コーセー 狭山事業所 ・ 大崎電気工業(株) 埼玉事業所
 有料参加者数：参加者数144名(会員140名 非会員4名)※目標：200名(会：190・非：10)
 参加社数 会員 22社 非会員 3社(増幸産業(株)、新生精機(株)、松田技術経営研究所)

招待企業数：無し

発表件数：8件(JHS：3件・PN：5件)

QCC誌への推薦：今回は推薦無し

大会の狙い：あらゆる小集団活動の改善事例の発表(現場改善、安全、環境、CS、福祉etc)を通じ
 学び合うことから更なるレベルアップを図る。

運営上の工夫：①新入社員入社時期でもあることから、DMに品質管理・改善・小集団活動の導入教育
 の場として活用していただくよう、アピールをした。

また、QCサークル誌購読企業へのDMには手紙に同上の内容を添え書きした。

②昨年度の聴講者アンケートの①性別：男性：85% ②年齢：20~30代：61%
 との結果から、若い世代向けの講演者を依頼できた。

③新型インフルエンザ対策の一環として、聴講申込み企業に参加するにあたりマスク着用
 及び体調不良者の参加自粛をFAXした。

④大会当日は会場入口に手消毒液・マスクを用意し、要旨集手渡し時に声かけをした。

⑤今大会も締切り間近で、会員会社へ電話での聴講啓蒙を行なった。

結果：①有料参加者の目標値(190名+10名)には届かなかった(72%)

※新型インフルエンザによる参加自粛企業2社：21名(キャンセル)

②非会員でQCサークル誌購読企業宛にDMを送付(117社)した結果、3社のみの申し
 込みではあったが今後も継続して行きたい。

③発表サークル数が昨年(11サークル)と比較すると少なかったが、スケジュール進行に
 余裕があり、また聴講者も聞き疲れがなかったのではないかとされた。

④発表参加初の企業、また10数年振りの参加企業があったことは非常に良かった。

⑤新入社員を派遣された企業が多く見受けられた。(フジノン(株)日本電業工作(株)日科技連出版社)

次年度への課題 ①JHS部門の充実を更に図る。

②窓口担当者会議等の席上において大会発表への呼びかけ及び相談体制を考える必要
 があるのではないかと(2009年度、窓口担当者会議において申込みあり)

③埼玉地区「審査表彰規定 第4章発表-21条」に禁止条項として掲載されているビデオ
 映画使用に関する罰則検討及び発表サークル、関係者に伝わり易くする必要がある。

発表サークル

No	会社名	サークル名	発表者	賞	
101	東日本旅客鉄道(株) 大宮支社	ヒアタライン	岡本裕士・財津武敏	銀賞	
102	フジノン(株) 営業部	機動戦士E-ヤング	Chinthaka	金賞	埼玉県経営者協会会長賞
103	社会福祉法人 愛の泉	おしぼり	中野理絵	銀賞	
201	大崎電気工業(株) 埼玉事業所	フォークマン「E」	加藤雄星	銀賞	
202	ジェコー(株) 本社工場	竹とんぼ	青木克行・五十嵐淳	金賞	埼玉県経営者協会会長賞
203	東日本旅客鉄道(株) 高崎支社	ごかぼの里	高山博一	銀賞	
204	日産ディーセル工業(株) 車両製造部	かるがも	落合一喜・壽崎将彦	銀賞	
205	東日本旅客鉄道(株)大宮総合車両センター	グリース	高久秀二	金賞	

大会風景



《会場からの質問》



《特別講演:鈴木 徹氏》



《表彰式》

18. 2009年度 第5104回 企業見学交流会①

《大会・ミニ企画Gr所管行事》

行事委員長：本田技研工業(株)埼玉製作所

開催月日：2009年6月11日(木)

開催場所：ジェコー株式会社 本社工場 (所在地:行田市富士見町1-4-1)

有料参加者：参加者数 37名 (会員 35名 非会員 2名) (目標値 40名)
参加社数 18社 (会員 17社 非会員 1社)

発表件数：事例発表(ジェコー(株))1件 モデル発表(株)コーサー)1件

狙い：グループディスカッションを通じて、QC手法や使い方のポイントを学び各社との情報交換をする場を提供する。

運営上の工夫：①最初に自己紹介の時間を設け、参加者がよりコミュニケーションを図れるようにした。
②昨年の反省を踏まえグループディスカッション時間を10分延長した。

結果 ①参加者数が37名となり目標募集人員(40名)を下回った。

②ミニ解説がわかりやすく説明されていて好評を得た。

課題：①参加者の確保が必要。

発表サークル

<事例発表>

No.	グループ名	会社・事業所名	発表者	発表テーマ
1	バナナボード	ジェコー(株)本社工場	馬場 慎	みんなの力を集結!751L異物不良低減活動

<モデル発表>

No.	サークル名	会社・事業所名	発表者	発表テーマ
2	フレッシュ	(株)コーサー狭山事業所	小沢 圭太 本橋 俊介	水系アイライナー、色ぶれ件数の低減 -アイライナー調色工程の確立-

プログラム

No.	時間	内容	担当
1	10:00~10:30	30 受付	事務局
2	10:30~10:35	5 開会挨拶	高橋幹事長
3	10:35~10:45	10 ジェコー(株)代表挨拶	丸毛工場長
4	10:45~11:00	15 各グループ自己紹介	全員
5	11:00~11:15	15 ジェコー(株)概要説明	波多野GL
6	11:15~12:15	60 工場見学	全員
7	12:15~13:00	45 昼食	全員
8	13:00~13:10	10 ジェコー(株)小集団活動概要説明	磯川様
9	13:10~13:15	5 GDの進め方説明	梅原幹事
10	13:15~13:35	20 事例発表(ジェコー(株)サークル)	馬場様
11	13:35~14:45	70 グループディスカッション	全員
12	14:45~15:00	15 休憩	全員
13	15:00~15:40	30 グループディスカッション結果発表	各グループ代表
14	15:40~16:00	20 ミニ解説・質疑応答	今石幹事
15	16:00~16:20	20 モデル発表(株)コーサーサークル)	小沢・本橋様
16	16:20~16:25	5 感謝状贈呈	高橋幹事長
17	16:25~16:25	5 アンケート記入	全員
18	16:25~16:35	5 閉会挨拶	古賀副幹事長



モデル発表風景



工場見学：製品説明風景



ジェコー(株)丸毛工場長様ご挨拶



グループディスカッション風景



工場見学：製品説明風景

19. 2009年度 第5111回 小集団活動夏季発表会

《大会・ミニ企画Gr所管行事》

開催月日：2009年7月15日(水)
 開催場所：さいたま市民会館 おおみや 小ホール
 行事委員長：大崎電気工業株式会社 埼玉事業所
 有料参加者：参加者数 会員 96名 非会員 0名 他地区 1名(京浜地区幹事)
 参加社数 会員 20社 非会員 0社 (目標値 140名)
 発表件数：6件 (JHS:3件、PN:3件)
 QCC誌への推薦：無し
 狙い：発表を通じてQCサークル活動の狙いや改善の進め方など多くのノウハウを習得する。
 運営上の工夫：①企画として、モデルサークルの事例発表に基づいたミニ研修を実施した。
 * 今後、福祉関係の発表が増えるものと思われ、ミニ研修の題材とした
 行事案内上の工夫 ②会員会社へDMを郵送する際、参加のご案内状と申込み書を同封した
 次年度への課題：①発表サークル枠の拡大
 ②発表要旨と当日の発表資料(P・P)との整合

発表サークル ＜PN部門＞

No.	サークル名	会社名・事業所名	発表者	発表テーマ	賞
101	地道にがんばって いくつもりです	ポラスグループ ポラテック(株)	吉越 俊和	横架材9号機における清掃時間の短縮	優秀賞
102	いちご	ジェコー(株)本社工場	鳥羽 康洋	ナット締め付け不良0にチャレンジ ～先輩から学んだQCサークル活動～	優秀賞
103	Aqua	(株)アルビオン熊谷工場	西田 浩朗	計量作業時間短縮における 原材棚・置き場の改善	優秀賞

＜JHS部門＞

No.	サークル名	会社名・事業所名	発表者	発表テーマ	賞
104	007～partⅡ～	社会福祉法人幸生会 障害者支援施設 はくちょう園	小森谷美紀子	はくちょう園入居利用者様「Aさんの入居生活 のQOLを高めよう」～失禁回数を減らそう～	優秀賞
105	GENKitheわん	東日本旅客鉄道(株) 大宮支社 三郷駅	赤松 信悟	職場への意識を高めお互いに声かけができる ようにしよう～環境を整えて円滑な業務を～	優秀賞
106	通所屋	社会福祉法人ときいき会 ハートポートセンターともいき	三枝 かよこ	通所支援におけるスマイル指数を取り入れた 支援の実践	優秀賞



▲高橋幹事長の開会挨拶



▲発表風景



▲熱心な質問風景



▲ミニ研修（増村幹事）



▲参加サークル記念写真

20. 2009年度 第5118回 企業見学交流会②

《大会・ミニ企画Gr所管行事》

行 事 委 員 長：大崎電気工業(株)埼玉事業所

開 催 月 日：2009年9月9日(水)

開 催 場 所：株式会社安川電機 入間事業所(所在地:入間市上藤沢480)

有 料 参 加 者：参加者数 43名(会員 43名 非会員 0名) (目標値 40名)

参加社数 14社(会員 14社 非会員 0社)

発 表 件 数：事例発表(株安川電機 入間事業所)1件 モデル発表(大崎電気工業(株)埼玉事業所)1件

狙 い：工場見学・体験談発表・グループディスカッションを通じて交流を深め、他社のQCサークル活動を学び自己啓発を図る。

運 営 上 の 工 夫：①最初に自己紹介の時間を設け、参加者がよりコミュニケーションを図れるようにした。

結 果 ①参加者数が43名となり募集人員(40名)を上回った。

②ミニ解説がわかりやすく説明されていて好評を得た。

次年度への課題：①トランシーバーを地区保有の物を使用してはどうか。(購入)

発 表 サ ー ク ル

<事例発表>

No.	サークル名	会社・事業所名	発表者	発表テーマ
1	ニコニコ	(株)安川電機 入間事業所	松下 智恵子 鈴木 友子	最終検査の工数低減 - 無駄取り!! -

<モデル発表>

No.	グループ名	会社・事業所名	発表者	発表テーマ
2	お山のひまわり	大崎電気工業(株)埼玉事業所	松原 大	遅相板組立 温度補償片なし不良の撲滅

プ ロ グ ラ ム

No.	時間	内容	担当
1	10:00~10:30	30 受付	事務局
2	10:30~10:35	5 開会挨拶	高橋幹事長
3	10:35~10:45	10 (株)安川電機 代表挨拶	熊谷工場長
4	10:45~11:00	15 各グループ自己紹介	全員
5	11:00~11:15	15 (株)安川電機 概要説明	氏家課長
6	11:15~12:15	工場見学	全員
7	12:15~13:00	45 昼食	全員
8	13:00~13:10	10 (株)安川電機 小集団活動概要説明	今石様
9	13:10~13:15	5 グループディスカッションの進め方説明	梅原幹事
10	13:15~13:35	20 事例発表(株安川電機サークル)	松下・鈴木様
11	13:35~14:45	70 グループディスカッション	全員
12	14:45~15:00	15 休憩	全員
13	15:00~15:40	30 グループディスカッション結果発表	各グループ代表
14	15:40~16:00	20 ミニ解説・質疑応答	根岸指導員
15	16:00~16:20	20 モデル発表(大崎電気工業(株)グループ)	松原様
16	16:20~16:25	5 感謝状贈呈	高橋幹事長
17	16:25~16:25	5 アンケート記入	全員
18	16:25~16:35	5 閉会挨拶	古賀副幹事長



▲モデル発表風景



▲工場見学：製品説明風景



▲(株)安川電機 熊谷工場長様ご挨拶



▲グループディスカッション風景



▲工場見学：製品説明風景

21. 第5130回 小集団活動ワイガヤ発表会

《大会・ミニ企画Gr所管行事》

行 事 委 員 長：ポラス株式会社

開 催 月 日：2009年10月6日(火)

開 催 場 所：富士電機機器制御株式会社 吹上事業所 (所在地:鴻巣市南1-5-45)

有 料 参 加 者：参加者数 会員 64名 非会員 0名(目標値 80名) ※当日3名欠席
参加社数 会員 18社 非会員 0社

発 表 件 数：5件

QCC 誌 へ の 推 薦：無し

ね ら い：① グループディスカッションを通じ参加者のQCスキルの向上と各社の情報交換の場を提供する。
② 県北地区企業に企画・運営に協力して頂き、幹事会員移行に向けての育成を行う。

運 営 上 の 工 夫：① 発表サークルもGDメンバーに組込むことで、発表者、参加者との一体感及び情報交換を出来るようにした。
② 講評及びGDの進め方・ポイントを、全員へレクチャーする事で講評者・アドバイザーのレベル合せを行った

結 果 ① GDの事前レクチャーにより、情報交流会の充実、参加者の自主性を尊重したディスカッションが出来たことで、発表会の満足度も非常に高くなった。
② ワイガヤの主旨を参加者が理解し積極的な情報交換が出来た。
③ 一般会員3社、幹事会社4社の協力を得て、講評者、アドバイザーを担当していただき、スキル向上と地区活動の理解を深めることが出来た。

次 年 度 へ の 課 題：① 要旨集について、講評者、参加者が見やすい印刷・作成指針の検討

発表サークル

推薦:QCサークル誌への推薦

No.	部門	サークル名	会社名・事業所名	発表者	発表テーマ	賞	推薦
1	PN	赤とんぼ	ジェコー(株) 本社工場	金子 ひろみ	ブザー浮き不良0への挑戦	優秀賞	-
2	PN	ひまわり	(株)アルビオン 熊谷工場	井上 順子	口紅新製品成型における不良率の低減 ～不良率20%以下～	優秀賞	-
3	JHS	ハッピースマイル	(株)ソーシン人間工場	濱中 美由紀	管理板入力の標準化による工数低減	優秀賞	-
4	PN	どろがめ	(株)アーレスティ 熊谷工場	会田 達也	4号炉、炉前での作業をスムーズに出来る様にする	優秀賞	-
5	JHS	新世紀	東日本旅客鉄道(株) 高崎支社 籠原駅	廣 純平	改札担当が四苦八苦	優秀賞	-

プ ロ グ ラ ム

No.	時間	内容	担当
1	10:00~10:30	受付	受付担当
2	10:30~10:35	5 オリエンテーション	梅原幹事
3	10:35~10:40	5 開会挨拶	古賀副幹事長
4	10:40~10:45	5 役員紹介	梅原幹事
5	10:45~11:05	20 情報交流会	全員
6	11:05~12:05	60 改善事例発表 3件	No.1,2,3サークル
7	12:05~12:55	50 昼食	全員
8	12:55~13:00	5 GD説明	梅原幹事
9	13:00~13:20	20 改善事例発表 1件	No.4サークル
10	13:20~14:10	50 GD	全員
11	14:10~14:35	25 GD結果発表及び講評	7グループ、講評者
12	14:35~14:45	10 休憩	全員
13	14:45~15:05	20 改善事例発表 1件	No.5サークル
14	15:05~15:55	50 GD	全員
15	15:55~16:20	25 GD結果発表及び講評	7グループ、講評者
16	16:20~16:30	10 表彰式	高橋幹事長
17	16:30~16:35	5 アンケート記入	全員
18	16:35~16:40	5 閉会挨拶	奥田グループ長
19	16:40~16:50	5 発表サークル記念撮影	発表サークル



▲開会の挨拶



▲グループディスカッション



▲発表サークル記念撮影



▲表彰式



▲講評者

22. 2009年度 第5154回改善事例選抜大会

《大会・ミニ企画Gr所管行事》

開催月日：2009年11月26日(木)

開催場所：さいたま市民会館うらわ(所在地:さいたま市浦和区仲町2-10-22)

行事委員長：(株)安川電機 人間事業所

有料参加者：参加者数 会員103名 非会員3名 計106名 (目標200名)

参加社数 会員22社 非会員1社 計23社

発表件数：10件

QCC誌への推薦：1件

狙い：①優秀サークルの改善事例発表を通じ、QCサークル活動の質の向上と相互啓発を図る。

②埼玉県知事賞を授与することによりモチベーションアップを図る。

③関東支部改善事例チャンピオン大会へ地区代表として出場するサークルを選考する。

運営上の工夫：①発表サークルに発表内容の見どころ・聞きどころを事前調査し要旨集に反映した。

②発表用PPTを事前提出して頂き地区パソコンにインストールをした為当日準備が楽だった。

結果：①有料参加者数は目標大幅未達。

②地区OBの方々に多く参加して頂き大会を盛り上げて頂いた。

次年度への課題：①参加人員の激減により募集人員の見直しと見合った会場選びが必要。

②発表時間をかなりオーバーしたサークルがあり再度時間管理の徹底が必要。

発表サークル

改善事例選抜大会審査結果

★ J H S 部門

No.	サークル・グループ名	会社名・事業所名	発表テーマ	賞
101	POS MEN	東日本旅客鉄道(株) 大宮支社大宮車掌区	異常時の振り替え案内を強化しよう	銀賞
102	世界のうめざわと アラライ体操	ボラスグループ (株)中央ビル管理 北越谷営業所	来店成約率をアップさせよう!	銀賞
103	ザ☆検査員	べんてる(株) 吉川工場	標準・限度見本の管理の改善	金賞 県知事賞

★ P N 部門

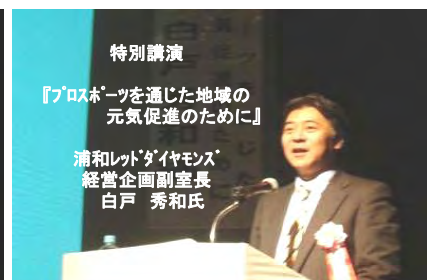
201	ガラクタ	フジノン(株)	小径1個研磨レンズの準備作業時間短縮	金賞
202	平成☆女学園 ギリギリBOYZ	東日本旅客鉄道(株) 大宮総合車両センター	先輩の経験を若い人に伝えよう!	銀賞
203	キングサーモンII	安川マニュファクチャリング(株) 関東カンパニー	Σ Iライン完成手入れ工程 防滴作業手直し台数の低減	銀賞
204	トリミング	ジェコー(株) 本社工場	塗装フツ不良0への挑戦 ～環境にやさしい職場づくり～	銀賞
205	はんだやさん	大崎電気工業(株) 埼玉事業所	HEM4ファンクション工程再試験率の低減	金賞
206	もみの木	(株)コーサー 狭山事業所	フローチューブ充填ラインにおける次工程 クレームの低減 ～ロット印字不良の撲滅～	銀賞
207	B-1	日産ディーゼル工業(株) PT製造部 機関課	～究極の仕組み追求～ ピストンオイルジェット曲がり不具合の撲滅	金賞 県知事賞 QCC誌推薦



▲田口地区長開会挨拶



▲サークル発表風景



特別講演

『プロスポーツを通じた地域の
元気促進のために』

浦和レッドダイヤモンズ
経営企画副室長
白戸 秀和氏



▲県代表挨拶 産業支援課 吉田課長



▲表彰式風景



23. 2009年度 研修グループ会議等報告書

会議名	日 曜 出席者数			議 題	その他実施事項
	開催場所				
第1回 グループ会議	3/4	水	13人	1. 研修グループ 2009年度の取組みについて 2. 年間 スローガンの決定 3. QCサークル活動の基礎研修について 4. 2009年度研修グループの課題について	
第2回 グループ会議	4/2	木	13人	1. 2009年度研修グループ委員会班編成について ・出前研修について ・研修グループ マニュアルについて 2. QCサークル活動の基礎研修行事について	
第3回 グループ会議	5/13	水	14人	1. 研修グループマニュアルの整理 2. 出前研修の内容について 3. QCサークル活動の基礎研修のリハール	
第4回 グループ会議	6/3	水	13人	1. 第1回グループ長会議の報告 2. QCサークル活動の基礎研修会実施報告 3. QCサークル リーダー研修会について ・基本カリキュラムについて	・グループ長会議で出前研修について 研修グループの見解を説明した。 ・研修用マニュアルを試験的に基礎研修で 使用した。結果良好(甲行事委員長)
第5回 グループ会議	7/2	木	13人	1. QCサークル活動の基礎研修会用テキスト再見直し 2. QCサークル リーダー研修会について ・DM及び実習で使用する パソコン等について ・2日間の講義内容について	・来年度用にテキストの再見直し ・実習で使用するパソコンの手配
第6回 グループ会議	7/22	水	13人	1. リーダー研修会準備について ・テキストにはノート部分も入れる。 ・ターゲット研修GDの進め方について 2. QC手法実践活用研修について ・研修カリキュラムの検討 ・研修開催日の変更	・研修用パソコンについて 富士電機機器制御㈱様より6台借用予定 ・行事委員長会社の変更 ㈱アルピオン様にお願いしました。 12月3日(木)・4日(金)で会場予約する
第7回 グループ会議	9/4	金	13人	1. QCサークルリーダー研修会リハール ・テキストに従って開始 2. QCサークル手法実践活用について ・昨年のテキストを利用する。 3. 35周年記念行事準備委員会の報告	・完成したテキストを配布 ・会場は富士電機機器制御㈱様 ・3日間コースから2日間コースに変更の為 テキスト内容の見直し
第8回 グループ会議	10/7	水	11人	1. QCサークルリーダー研修会実施報告 ・感想カード集計結果報告 ・役員反省表の内容確認 2. QC手法実践活用研修について ・研修プログラム及びテキストの見直し 3. 第2回グループ長会議報告 ・グループ運営費収支の中間報告 ・現在の問題点と来期への懸案事項について ・第2回35周年記念事業準備委員会の報告	・感想カード 回収率100% 研修への満足度が93.3%と好評でした ターゲットは満足度100%と大好評でした ・各講義について 研修講師のサブも決める 参加券に問合せ先を明記する ・幹事会社減少に伴う行事の見直し ・景気後退による参加者の減少 最低の参加人数を決めておく
第9回 グループ会議	11/18	水	15人	1. QC手法実践活用研修リハール ・データの取り方・まとめ方・チェックシート ・グラフ・パレート図・ヒストグラム ・QC手法活用事例・特性要因図 ・系統図法・マトリックス図法 2. 2010年度行事運営について	・研修当日の役割分担の確認(有料参加25人) 指導員さんの役割分担(講義・アドバイザー) 1日目・藤沢指導員・大熊指導員 2日目・渡辺指導員・菅原指導員・村指導員 山田指導員・三ツ橋指導員 幹事は2日間とも参加
第10回 グループ会議	1/15	金	14人	1. QC手法実践活用研修実施報告 ・感想カード集計結果報告 ・役員反省表の内容確認 2. 第3回35周年記念事業準備委員会報告 3. 2009年度行事振り返り ・マニュアルの作成について 4. 2010年度行事運営について	・感想カード 回収率100% 研修への満足度が56%でした。 研修の中で少し難しい手法があったと思われます。 全体的にはまあ役立ったを入れると100%でした。 ・行事委員長会社の負担軽減の為役割分担をした。 ・研修用マニュアル完成。グループ全員に配布。 ・飛躍の年になるよう知恵を出し合う。

24. 2009年度 QCサークル活動の基礎研修会

《研修Gr所管行事》

開催月日：2009年5月19日(火)～20日(水)【2日間通い】

開催場所：埼玉会館 7階A会議室

行事委員長：株式会社アルビオン

有料参加者：参加者数 会員 40名 非会員 0名 (目標値 35名)

参加社数 会員 16社 非会員 0社

ねらい：QCサークル活動の基本を理解し、改善マインドを養う研修とする。

運営上の工夫：①GDやクイズにより、考え、話し、発表する参画型の研修会とした。

②GDで相互理解と企業間の交流を深めた。

③テキストとPPTを同じものにして、講義に取り残されないように工夫した。

結果：QCサークル活動に取り組むことの理解を深めていただくことができ、あらためて品質管理とQCサークル活動の基本を学べる機会を提供することができた。

次年度への課題：①PPTを直接印刷にかけたため、一部薄くなって見え難いところがあった。

②プリンターを持ち込んだことにより、トラブルに即対応することができた。

基本プログラム

1日目 < 5月19日(火) >

司会:高橋(午前)・岸(午後)

時刻	時間(分)	内容	研修形式	担当者
9:30 ~ 9:45	15	受付		中出
9:45 ~ 9:50	5	開会挨拶		武井
9:50 ~ 9:55	5	オリエンテーション		高橋
9:55 ~ 10:55	60	QCサークル活動の必要性	講義	新井
10:55 ~ 11:05	10	休憩		
11:05 ~ 12:25	80	QC的な見方・考え方及び簡単なQC手法(グラフ)	講義	村
12:25 ~ 13:05	40	昼食休憩		
13:05 ~ 15:05	120	クイズ・GDで学ぶ「QC手法の使い方」と「QCサークルの基本」	演習&GD	藤沢
15:05 ~ 15:20	15	休憩		
15:20 ~ 16:50	90	問題解決の基本的な手順と重要なポイント(その1)	講義	新井



▲講義から学ぶ

2日目 < 5月20日(水) >

司会:高橋(午前)・岸(午後)

時刻	時間(分)	内容	研修形式	担当者
9:20 ~ 10:30	70	問題解決の基本的な手順と重要なポイント(その2)	講義	大熊
10:30 ~ 10:40	10	休憩		
10:40 ~ 12:00	80	改善事例研究GD(GDの進め方及び改善事例研究)	GD	渡辺
12:00 ~ 12:50	50	昼食休憩		
12:50 ~ 15:00	130	改善事例研究GD(GDの進め方及び改善事例研究)	GD	渡辺
15:00 ~ 16:00	60	改善事例研究GD発表		講師:渡辺
16:00 ~ 16:05	5	修了証授与		武井
16:05 ~ 16:15	10	感想カード記入		岸
16:15 ~ 16:20	5	開会挨拶		甲



▲GDで楽しく学ぶ



▲修了証授与

*GDとはグループディスカッションの略

25. 2009年度 小集団活動リーダー研修会

《研修Gr所管行事》

開催月日：2009年9月15日(火)～16日(水)【2日間通い】

開催場所：富士電機機器制御(株)6階大ホール

行事委員長：フジノン(株)

有料参加者：参加者数 会員 29名(当日欠席1名) 非会員 0名 (目標値35名)

参加社数 会員 15社 非会員 0社

ねらい：QCサークル活動の基本・リーダーシップのとり方及び改善能力を磨くための研修とする。

運営上の工夫：①講義を減らしGDを中心の参画型研修会とした。

②GDはPCを活用してQCストーリーを誰でも手順通り、進められるようにした。

結果：QCサークル活動の必要性とリーダーシップのとり方の理解を深めていただくことができ、GDでミニ改善活動を行ったことにより問題解決の進め方を深く理解できた。

次年度への課題：①研修会場の確保

②行事委員長会社の負担軽減(行事委員長をやる会社が少ない)

③景気後退による参加者の減少歯止め

基本プログラム

1日目 < 9月15日(火) >

司会：中出幹事

時刻	時間(分)	内容	担当
9:30 ~ 9:45	15	受付	
9:45 ~ 9:50	5	開会挨拶	武井幹事
9:50 ~ 10:05	15	オリエンテーション・自己紹介	
10:05 ~ 11:05	60	QCサークル活動の必要性	菅原指導員
11:05 ~ 11:15	10	休憩	
11:15 ~ 12:05	50	リーダーシップのとり方&リーダーとしての心掛け	新井幹事
12:05 ~ 12:45	40	昼食休憩	
12:45 ~ 14:45	120	GD:リーダーの悩み Q&A:パネルディスカッション	チーフ:渡辺指導員
14:45 ~ 15:00	15	休憩	
15:00 ~ 17:00	120	GD:ゲームから学ぶ実践的 問題解決の進め方	藤沢指導員



▲9/15 グループディスカッション



▲9/16 グループディスカッション

2日目 < 9月16日(水) >

司会：高橋幹事

時刻	時間(分)	内容	担当
9:20 ~ 12:00	160	GD:ゲームから学ぶ実践的 問題解決の進め方	藤沢指導員
12:00 ~ 12:50	50	昼食休憩	
12:50 ~ 14:50	120	GD:ゲームから学ぶ実践的 問題解決の進め方	藤沢指導員
14:50 ~ 15:00	10	休憩	
15:00 ~ 15:50	50	発表	藤沢指導員
15:50 ~ 16:20	30	解説	新井幹事
16:20 ~ 16:25	5	修了証授与	武井幹事
16:25 ~ 16:35	10	感想カード記入	
16:35 ~ 16:40	5	閉会挨拶	新井幹事



▲9/16 修了証授与

26. 2009年度 QC手法実践活用研修会

《研修Gr所管行事》

開催月日：2009年12月3日(木)～4日(金)【2日間通い】

開催場所：さいたま市産業振興会館 多目的ホール

行事委員長：(株)アルビオン

有料参加者：参加者数 会員 24名 非会員 1名 (目標値 35名)

参加社数 会員 15社 非会員 1社

ねらい：改善活動に必要なQC手法(Q7・N7)を基礎から学ぶ

運営上の工夫：①演習やGDにより、考え、話し、発表する参画型の研修会とした

②現場の改善活動に、最も多く使われる手法を優先して学ぶ

次年度への課題：3日間から2日間へ短縮したことにより、時間が足りない部分もあった

基本プログラム

1日目 < 12月3日(木) >

司会:高橋(午前)・中出(午後)

時刻	時間(分)	内容	研修形式	担当者
9:30～9:45	15	受付		高橋
9:45～9:50	5	開会挨拶		武井
9:50～9:55	5	オリエンテーション		高橋
9:55～10:05	10	グループ内自己紹介		高橋
10:05～11:45	100	データの取り方・まとめ方(層別の考え方)・チェックシート	講義	大熊
11:45～12:30	45	昼食休憩		
12:30～14:50	140	グラフ・パレート図(途中休憩含む)	講義&演習	藤沢
14:50～15:05	15	休憩		
15:05～17:00	115	ヒストグラム	講義&演習	甲



▲講義から学ぶ



▲グループディスカッション

2日目 < 12月4日(金) >

司会:高橋

時刻	時間(分)	内容	研修形式	担当者
9:30～9:35	5	オリエンテーション		高橋
9:35～10:35	60	QC手法活用事例	講義	新井
10:35～10:45	10	休憩	講義&GD	
10:45～12:10	85	特性要因図	講義&GD	菅原
12:10～12:50	40	昼食休憩		
12:50～13:45	65	特性要因図(午前中の続き)	GD	
13:45～14:15	30	特性要因図(発表)		講評:渡辺
14:15～14:25	10	休憩		
14:25～16:25	120	系統図法・マトリックス図法	講義&GD	木村
16:25～16:30	5	修了証授与		武井
16:30～16:40	10	感想カード記入		高橋
16:40～16:45	5	開会挨拶		甲



▲結果発表



▲修了証授与

*GDとはグループディスカッションの略

27. 2009年度 QCサークル埼玉地区 決算書

2009年度 QCサークル埼玉地区 決算書

(1)一般会計

科 目		09予算額	09決算額	増減額
収 入	1. 前年度繰越金	8,178,666	8,178,666	0
	2. 会費	1,140,000	1,179,000	39,000
	3. 行事収入	881,200	367,576	-513,624
	4. 本部からの収入	0	0	0
	5. 利息	4,000	1,994	-2,006
収入合計		10,203,866	9,727,236	-476,630
(単年度収入合計)		2,025,200	1,548,570	-476,630
支 出	6. 会員支援費			
	①組織拡大費	100,000	64,088	-35,912
	②QCサークル誌購読料	500,760	494,750	-6,010
	③活動実績&計画報告資料	54,500	45,836	-8,664
	④広報広聴費	156,500	77,980	-78,520
	小計	811,760	682,654	-129,106
	7. 会議運営費			
	①幹事会	900,000	388,885	-511,115
	②グループ長会議	105,000	26,120	-78,880
	③運営グループ会議	215,000	113,541	-101,459
	④大会・ミニ企画グループ会議	305,000	280,426	-24,574
	⑤研修グループ会議	333,000	292,471	-40,529
	小計	1,858,000	1,101,443	-756,557
	8. 事務局費			
	①事務局運営費	837,000	713,078	-123,922
②次年度運営費	100,000	27,840	-72,160	
小計	937,000	740,918	-196,082	
9. 教育研修費				
小計	600,000	306,303	-293,697	
10. 什器・備品・教材費				
①事務局	0	0	0	
②大会・ミニ企画グループ	170,000	66,000	-104,000	
③研修グループ	150,000	141,649	-8,351	
小計	320,000	207,649	-112,351	
11. 記念事業積立金				
小計	0	0	0	
支出合計		4,526,760	3,038,967	-1,487,793
単年度収支		-2,501,560	-1,490,397	1,011,163
次年度繰越金		5,677,106	6,688,289	1,011,183

(2)記念事業会計

科 目		09予算額	09実績額	増減額
収 入	1. 繰越金	1,400,349	1,400,349	0
	2. 積立金	0	0	0
	3. 利息	1,600	240	-1,360
収入合計		1,401,949	1,400,589	-1,360
(単年度収入合計)		0	0	0
支 出	4. 記念行事費	0	0	0
	5. 記念誌出版費			
	①印刷費	0	0	0
	②通信費	0	0	0
	小計	0	0	0
	6. 事務局費			
	①振り込み手数料	800	1,635	835
	7. 35周年記念事業準備委員会 運営費			
①会議運営費	0	182,589	-182,589	
8. 予備費				
小計	0	0	0	
支出合計		800	184,224	183,424
単年度収支		800	-184,224	-185,024
次年度繰越金		1,401,149	1,216,365	-184,784

※2009年8月24日より『35周年記念事業準備委員会設置規則』が施行され、10月22日第3回幹事会にて支出勘定科目 7. 35周年記念事業準備委員会 運営費を追加した旨、承認された。

上記の通り報告致します。 <会計監査報告>

2010年2月25日

幹事長 高橋公明

事務局 高橋日都子



上記の決算について、QCサークル関東支部埼玉地区規定及び会計処理規則に基づき、収支証拠帳簿伝票類を精査したところ、適正かつ正確であることを認めます。

2010年2月25日 会計監査人 北島憲造



会計監査人 和田茂人



28. 2009年度 QCサークル埼玉地区 組織図

2010.2.28

QCサークル本部
【(財)日本科学技術連盟内】

北海道 支部	東北 支部	関東 支部	東海 支部	北陸 支部	近畿 支部	中国・四国 支部	九州 支部	沖縄 支部
-----------	----------	----------	----------	----------	----------	-------------	----------	----------

支部世話人:古郡 陽一(KYB株) 支 部 長:酒井 明彦(セイコーエプソン株) 副 支 部 長:毛利 哲明(株ジーシー)	支 部 幹 事 長:立岩 豊(セイコーエプソン株) 支 部 副 幹 事 長:高橋 誠二(株ジーシー) 支 部 事 務 局:三井 正幸(セイコーエプソン株) 山崎 直美(セイコーエプソン株) 支 部 副 事 務 局:二瓶 勤(株ジーシー)
---	--

京浜 地区	長野 地区	群馬 地区	埼玉 地区	栃木 地区	山梨 地区	千葉 地区	神奈川 地区	茨城 地区
----------	----------	----------	----------	----------	----------	----------	-----------	----------

名誉世話人
名誉世話人: 安藤 之裕 (財)日本科学技術連盟
名誉世話人: 本多 康夫 埼玉県経営者協会

正副地区長
地 区 長: 田口 勝彦
(富士電機機器制御株吹上事業所)
副地区長: 小玉 辰朗
(株コーセー狭山工場)

正副世話人・顧問・相談役・指導員
顧 問: 沼崎 邦明 (大崎電気工業株)
世 話 人: 廣瀬 正敏 (元UDトラックス株)
副世話人: 北島 憲造 (大崎電気工業株)
相 談 役: 小林 則雄 (元本田技研工業株)
指 導 員: 大熊 三男 (元富士重工業株)
指 導 員: 腰塚 清 (元UDトラックス株)
指 導 員: 菅原 准一 (元べんてる株)
指 導 員: 竹内 厚生 (元本田技研工業株)
指 導 員: 根岸 達雄 (元富士電機機器制御株)
指 導 員: 藤沢 誠一 (元大崎電気工業株)
指 導 員: 三ツ橋章雄 (元UDトラックス株)
指 導 員: 村 精治 (株エム・アイ・キュー)
指 導 員: 山田 迪男 (元フジノン株)
指 導 員: 渡辺 孝 (職場活性化研究所)
指 導 員: 兼)小林 則雄 (元本田技研工業株)

正副幹事長
幹 事 長: 高橋 公明
(富士電機機器制御株吹上事業所)
副幹事長: 古賀 逸明
(株コーセー狭山事業所)

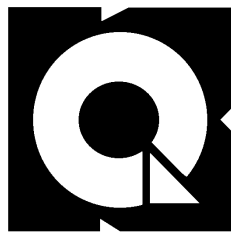
会計監査人
北島 憲造
(大崎電気工業株埼玉事業所)
和田 茂人
(UDトラックス株)

正副事務局
事 務 局: 木村 茂・高橋 日都子
(富士電機機器制御株吹上事業所)
副事務局: 増村 幾子
(株コーセー狭山事業所)

幹事会員 & 幹事・指導員 グループ体制		
大会・ミニ企画グループ	研修グループ	運営グループ
◎大崎電気工業株埼玉事業所 幹事: 奥田 一夫 梅原 直美 ○ボラス株 幹事: 丸岡 淳 ・株安川電機入間事業所 幹事: 今石 義信 ・ジェコー株 幹事: 飯田 尚彦 ・株コーセー狭山事業所 幹事: 増村 幾子 ・本田技研工業株埼玉製作所 幹事: 伊藤 真一 幹事: 7名 指導員 3名 根岸 達雄 腰塚 清 小林 則雄	◎株本庄防災設備 幹事: 武井亀代子 ○富士電機機器制御株吹上事業所 幹事: 木村 茂 高橋 日都子 ・フジノン株 幹事: 新井 道夫 ・株アルビオン熊谷工場 幹事: 甲 栄一 中出 かずみ ・富士重工業株産業機器カンパニー ・UDトラックス株 幹事: 和田 茂人 大箱 豊治 幹事: 8名 指導員 8名 大熊 三男 菅原 准一 竹内 厚生 藤沢 誠一 三ツ橋 章雄 村 精治 山田 迪男 渡辺 孝	◎富士電機機器制御株吹上事業所 幹事: 高橋 公明 木村 茂 高橋 日都子 ○株コーセー狭山事業所 幹事: 古賀 逸明 増村 幾子 5名 ◎グループ長 ○副グループ長 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> 幹事会員: 12社 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> 役員: 33名 (幹 事15名) (指 導 員 11名) </div>

歴代埼玉地区 地区長会社

1976年度	東京芝浦電機(株)深谷工場
1977年度	富士電機製造(株)吹上工場
1978年度	スカイアルミニウム(株)深谷工場
1979年度	雪印食品(株)春日部工場
1980年度	新電元工業(株)飯能工場
1981年度	日産ディーゼル工業(株)本社・上尾工場
1982年度	小松インターナショナル製造(株)川越工場
1983年度	(株)コーセー 狭山事業所
1984年度	萱場工業(株) 浦和工場
1985年度	富士ゼロックス(株) 岩槻工場
1986年度	リズム時計工業(株) 庄和工場
1987年度	(株)安川電機製作所 東京工場
1988年度	ぺんてる(株) 草加工場
1989年度	沖電気工業(株) 本庄工場
1990年度	日立金属(株)熊谷工場
1991年度	(株)ゼクセル
1992年度	大日本インキ科学工業(株)蕨工場
1993年度	(株)リケン 熊谷工場
1994年度	自動車機器(株)
1995年度	三菱電線工業(株)熊谷製作所
1996年度	東日本旅客鉄道(株)東京地域本社
1997年度	日本電信電話(株)埼玉支店
1998年度	富士写真光機(株)
1999年度	(株)東芝 深谷工場
2000年度	大崎電気工業(株)
2001年度	富士電機(株)
2002年度	(有)エコー・ド・スカイ
2003年度	(株)コーセー
2004年度	富士重工業(株)
2005年度	(株)安川電機
2006年度	東日本旅客鉄道(株)大宮支社
2007年度	本田技研工業(株)
2008年度	大崎電気工業(株)
2009年度	富士電機機器制御(株)
2010年度	(株)コーセー
2011年度	UDトラック工業(株) ※元日産ディーゼル工業
2012年度	(株)安川電機
2013年度	



QCサークル関東支部埼玉地区

2010年度活動計画

2009年度活動報告

発行年月日 : 2010年3月5日

発行 : QCサークル関東支部埼玉地区

2010年度 地区長 : (株)コーセー狭山事業所

2010年度 副地区長 : UDトラックス(株)

2009年度 地区長 : 富士電機機器制御(株)吹上事業所